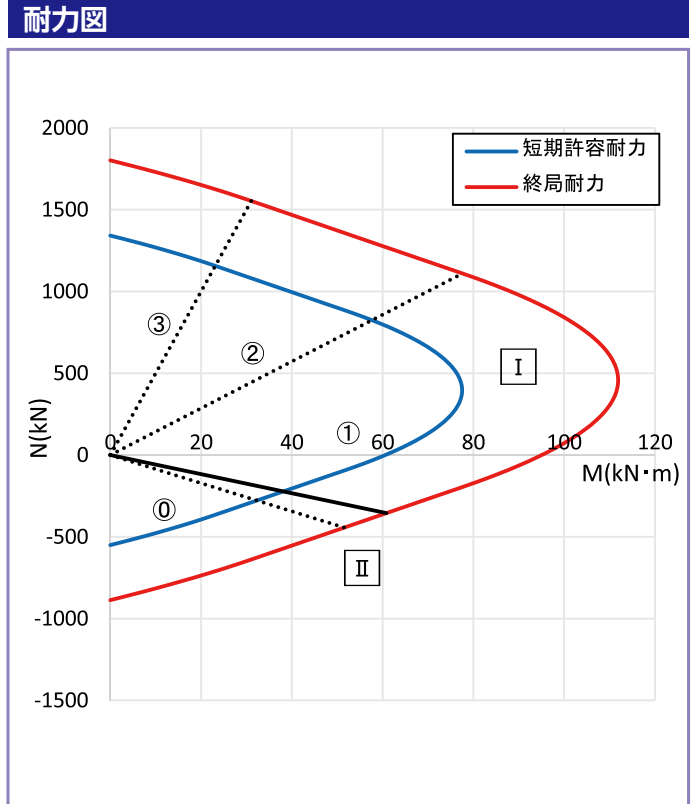
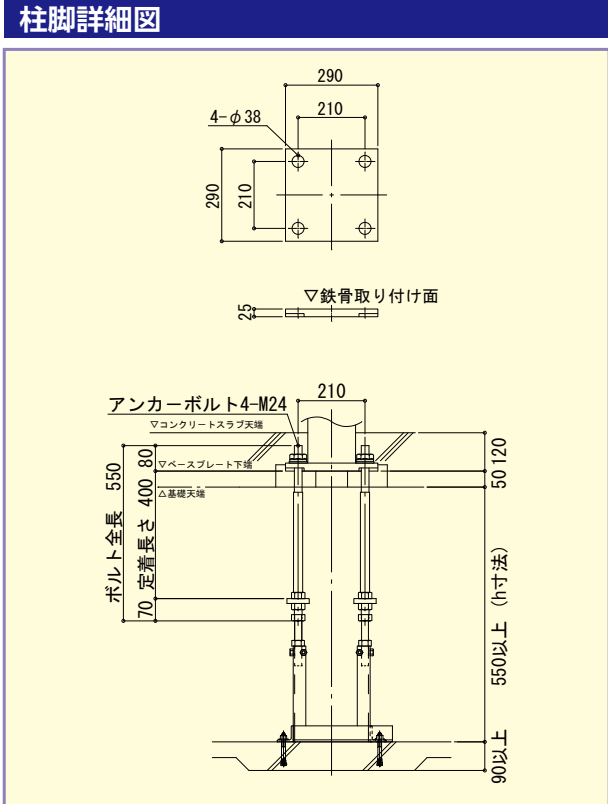


EB150-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □150 (板厚範囲:4.5~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	14.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	500	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	500	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

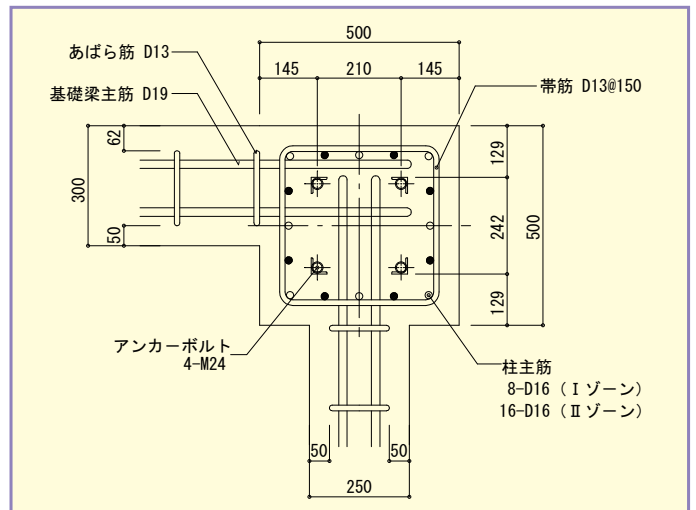
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~390	330~390	380~390	
D19	280~390	340~390		
D22	280~380	340~380		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~290	280~290		
D19	240~290			
D22	240~280			



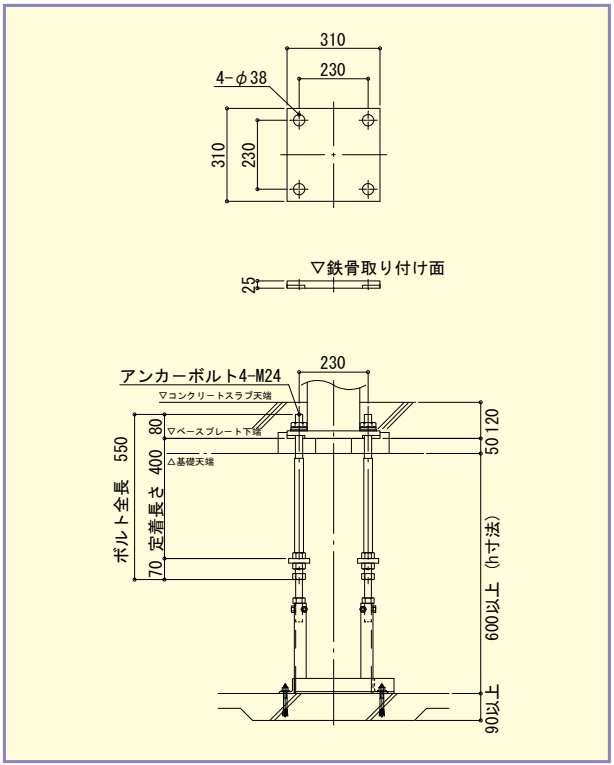
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB175-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

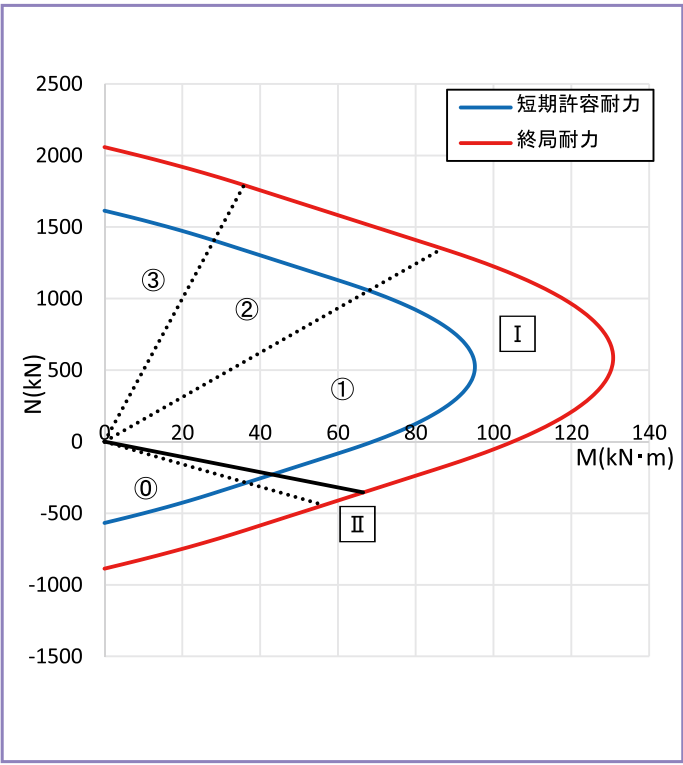
適用柱	角形鋼管柱 □175 (板厚範囲:4.5~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	17.9×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210
〈中柱用〉	520	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	520	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	210

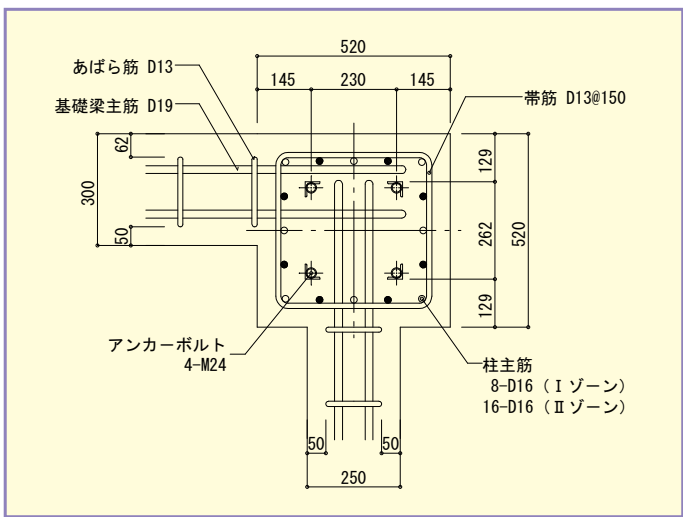
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~410	330~410	380~410	
D19	280~410	340~410	400~410	
D22	280~400	340~400	400	

柱形中心基礎はりタイプ

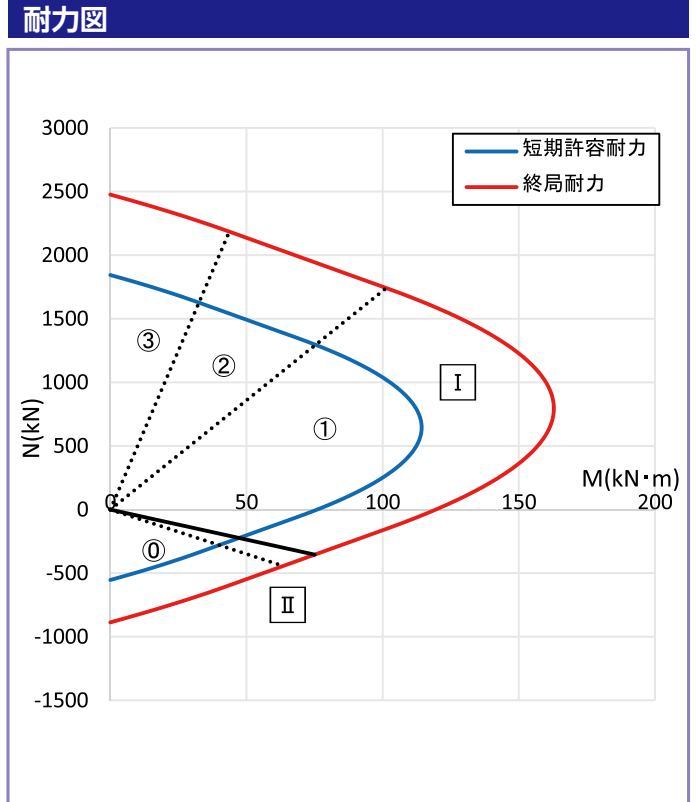
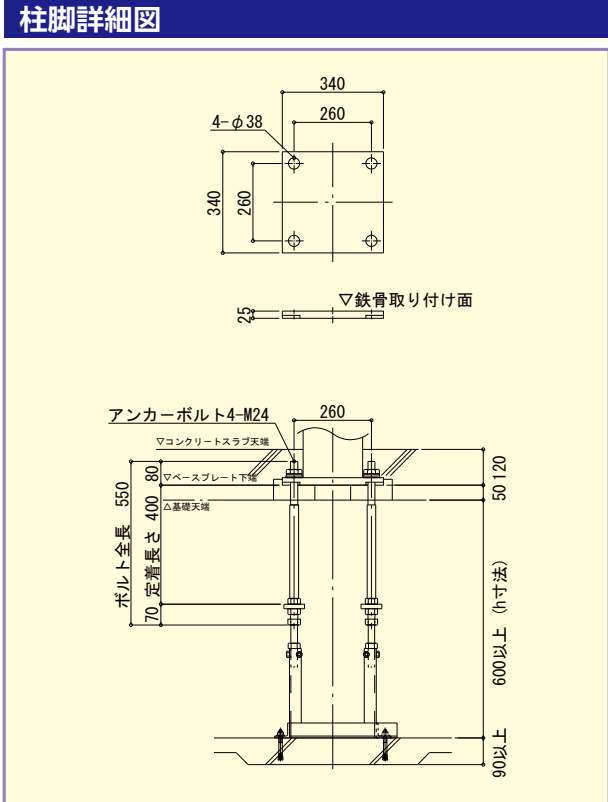
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~310	280~310		
D19	240~310	300~310		
D22	240~300	300		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB200-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	21.9 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	550	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	550	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	550	8-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	550	16-D16 (SD295)	D13@150 (SD295)	200

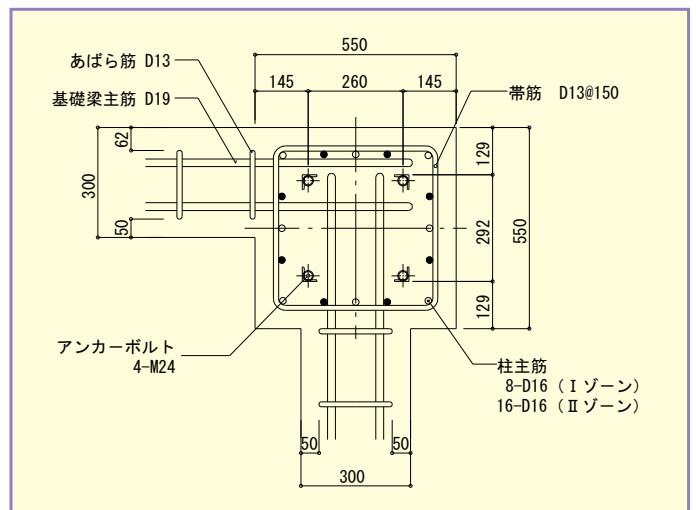
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~440	330~440	380~440	430~440
D19	280~440	340~440	400~440	
D22	280~430	340~430	400~430	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~340	280~340	330~340	
D19	240~340	300~340		
D22	240~330	300~330		



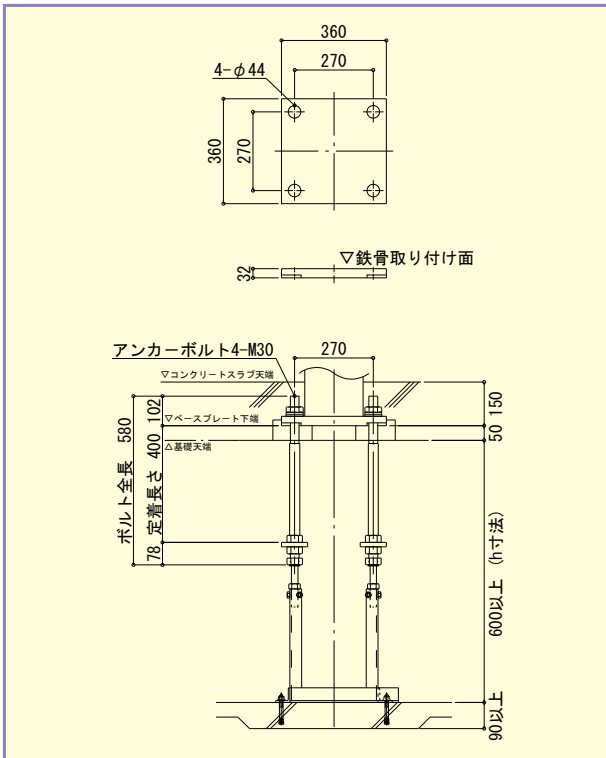
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB200-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

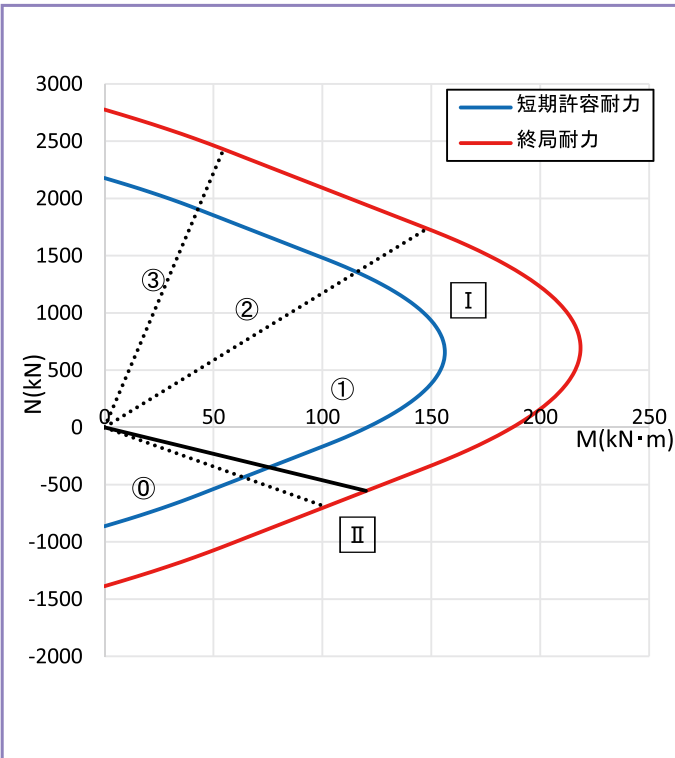
適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	35.4 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	570	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	570	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	300
〈中柱用〉	570	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	570	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	300

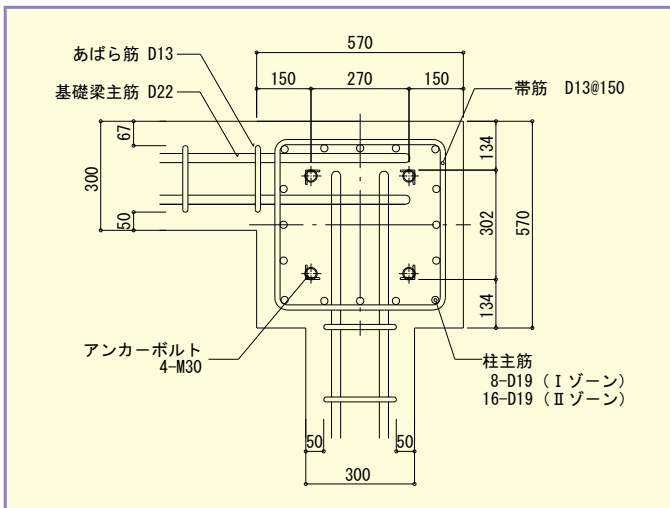
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~440	340~440	400~440	
D22	280~440	340~440	400~440	
D25	280~440	350~440	420~440	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340		
D22	240~340	300~340		
D25	250~340	320~340		

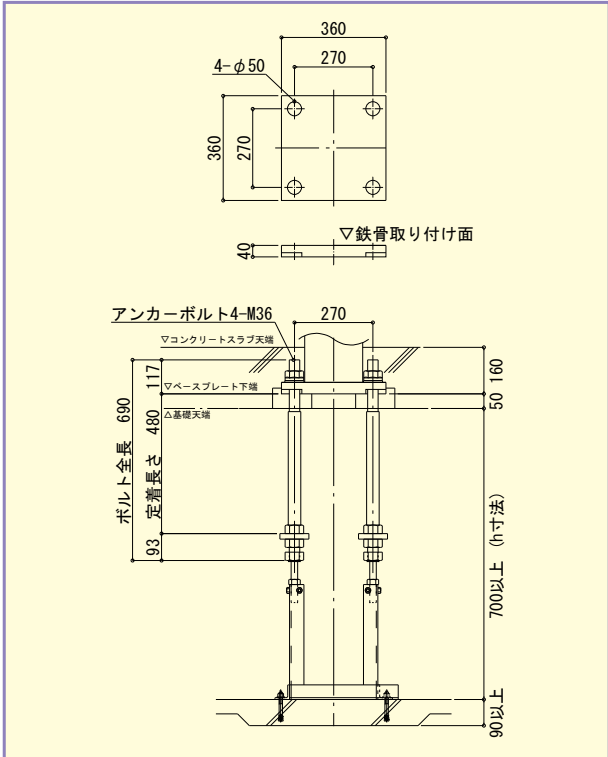


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

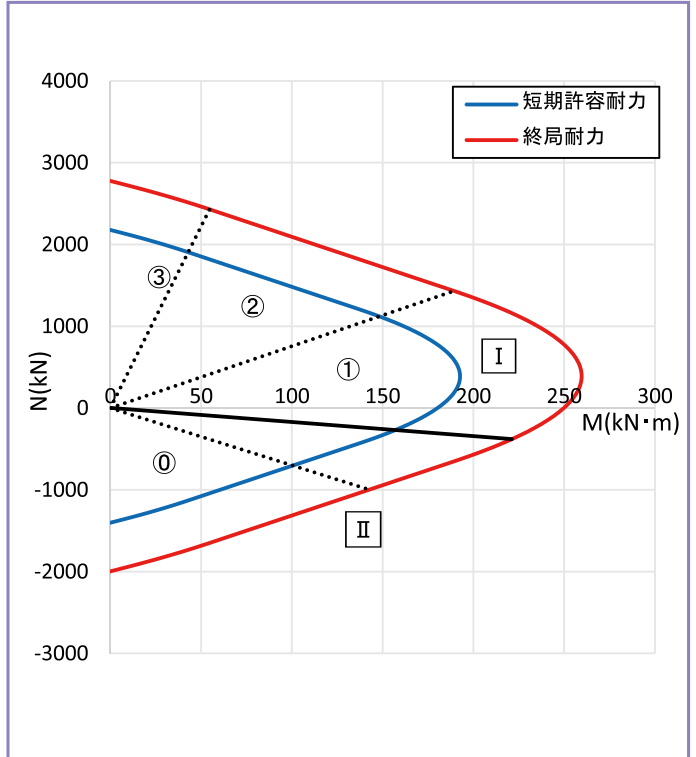
EB200-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □200 (板厚範囲:6~12mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	41.4 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	580	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	580	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	580	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	580	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

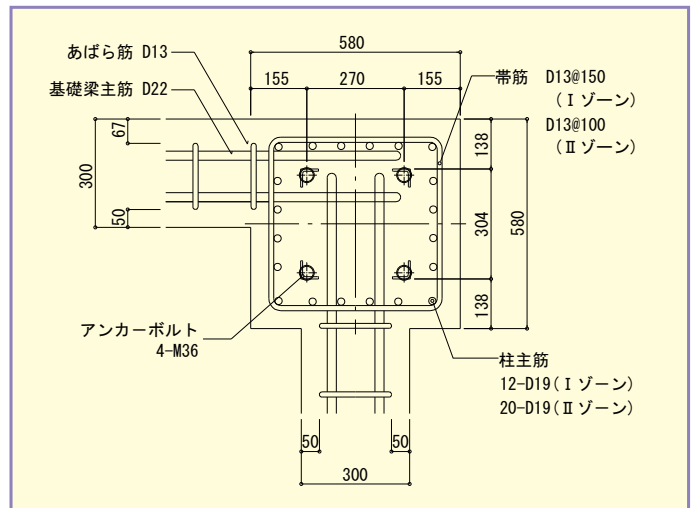
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~430	340~430	400~430	
D22	280~430	340~430	400~430	
D25	280~430	350~430	420~430	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320		
D22	240~320	300~320		
D25	250~320	320		



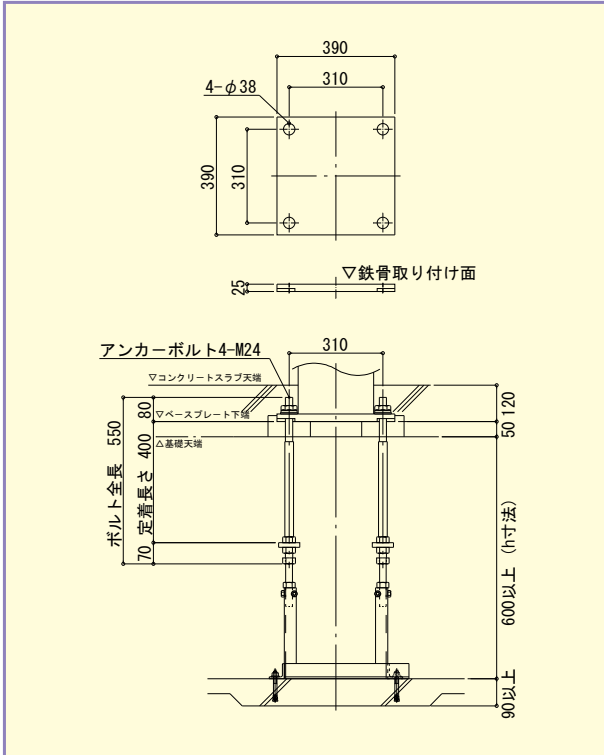
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-4-24 (Fc=21N/mm²の場合)

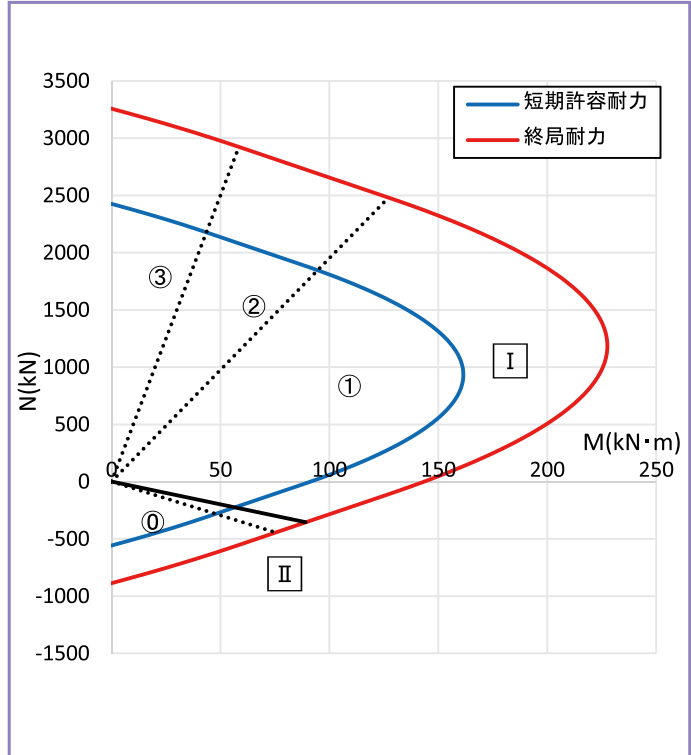
適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M24)
回転ばね定数	32.2 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	600	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	600	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200
〈中柱用〉	600	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	600	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	200

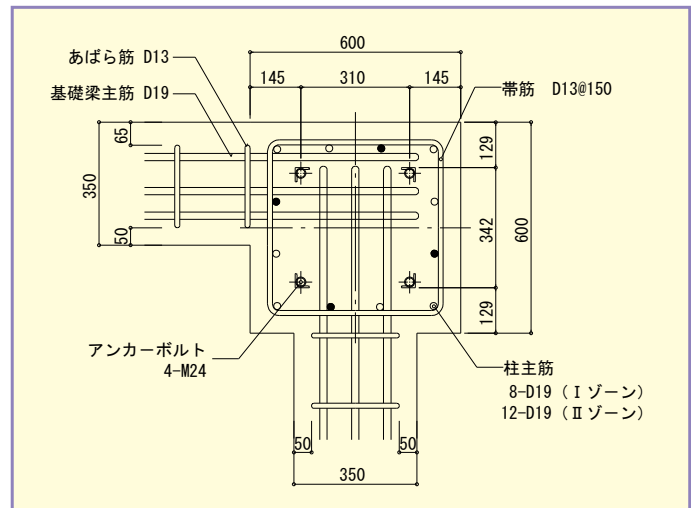
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	280~490	330~490	380~490	430~490
D19	280~490	340~490	400~490	460~490
D22	280~480	340~480	400~480	460~480

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D16	230~390	280~390	330~390	380~390
D19	240~390	300~390	360~390	
D22	240~380	300~380	360~380	

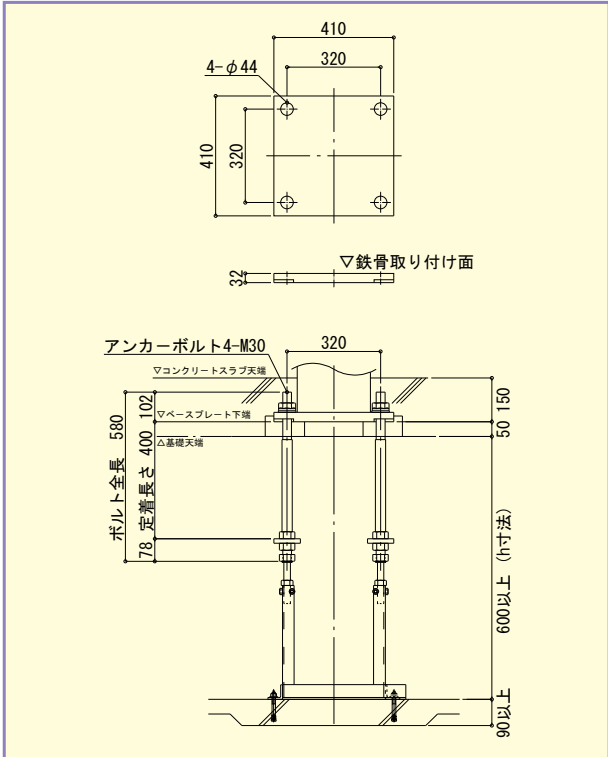


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

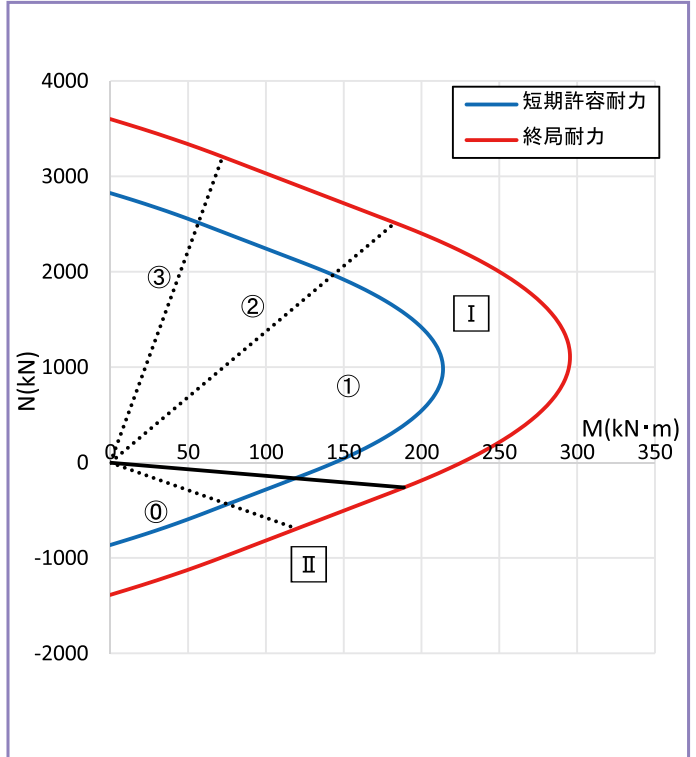
EB250-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □250(板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ(鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ(4-M30)
回転ばね定数	51.3×10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	300
〈中柱用〉	610	8-D19(SD345)	D13@150(SD295)	610	16-D19(SD345)	D13@150(SD295)	300

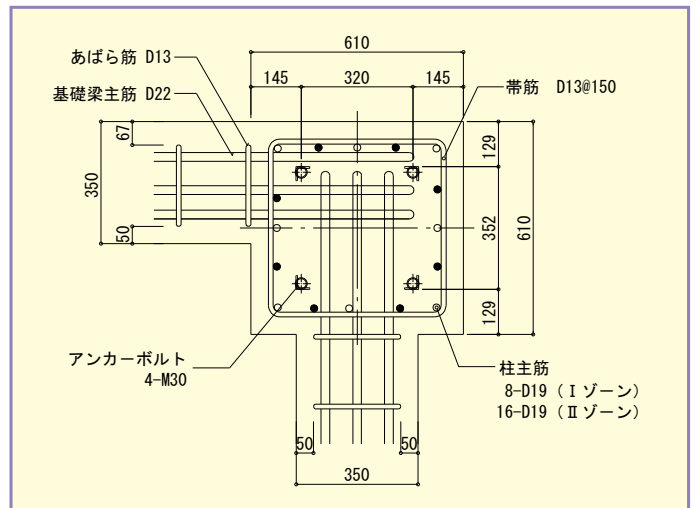
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~500	340~500	400~500	460~500
D22	280~500	340~500	400~500	460~500
D25	280~500	350~500	420~500	490~500

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	
D22	240~390	300~390	360~390	
D25	250~390	320~390	390	



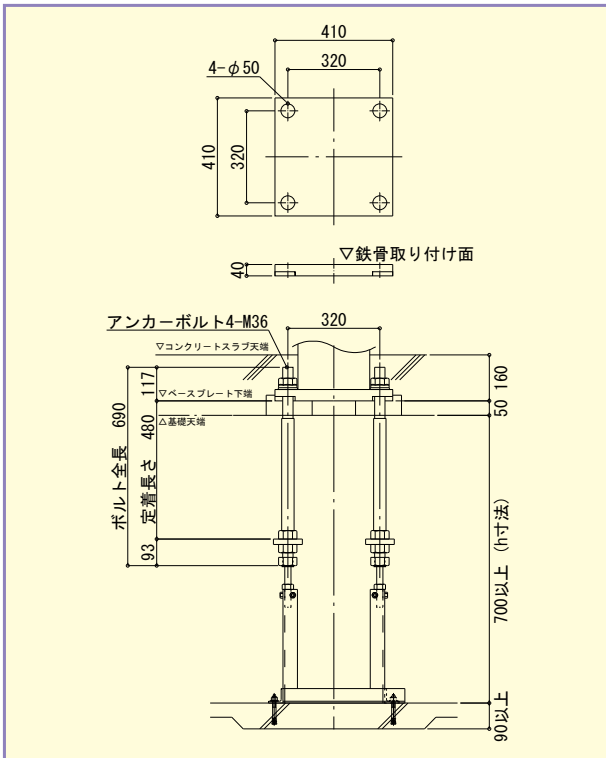
注1) 上記柱主筋について、柱主筋○はIゾーンの場合の配筋量です。
設計上、IIゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

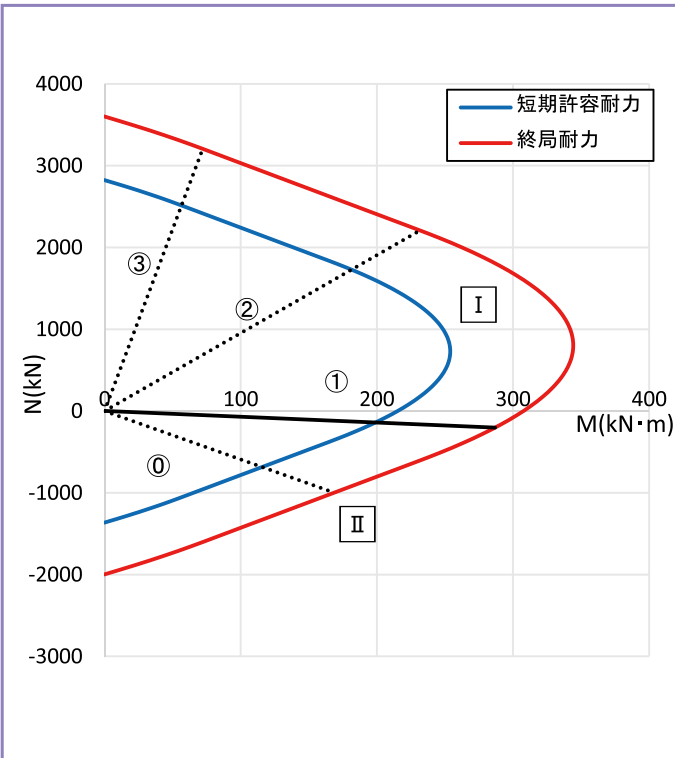
適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	59.7 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	610	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	610	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	610	12-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	610	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

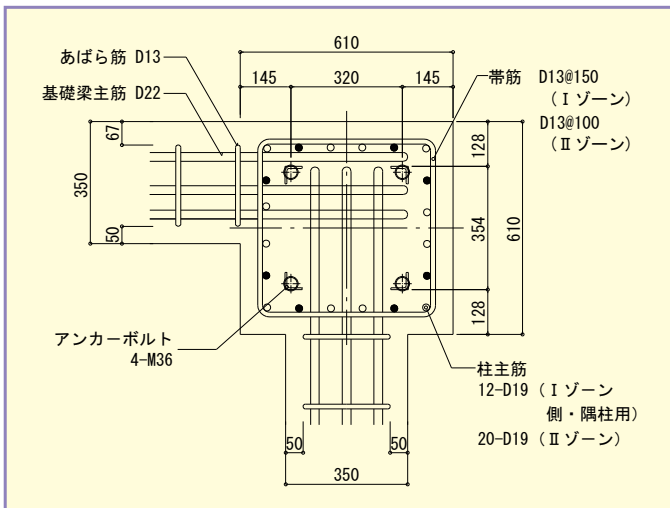
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	290~490	350~490	410~490	470~490
D22	290~490	350~490	410~490	470~490
D25	290~490	360~490	430~490	

柱形中心基礎はりタイプ

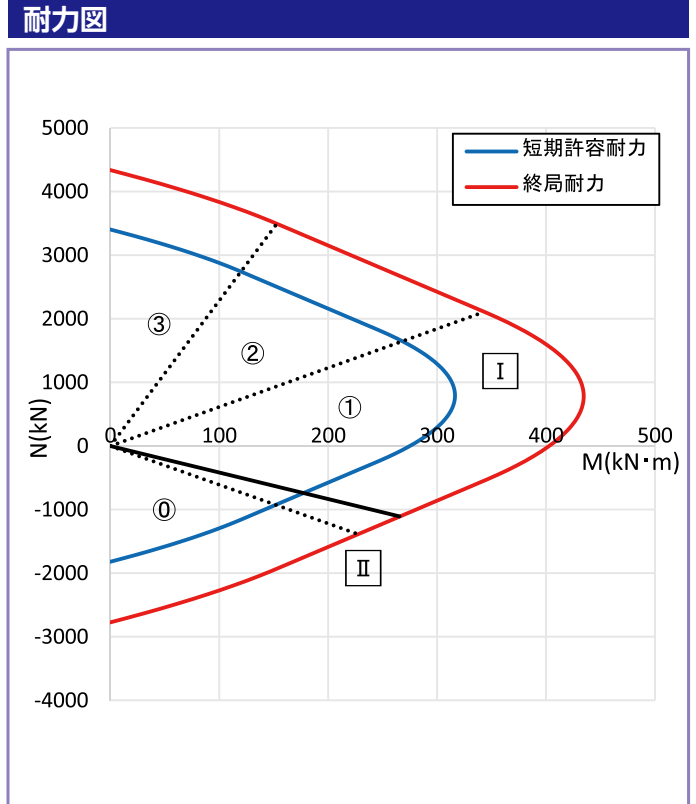
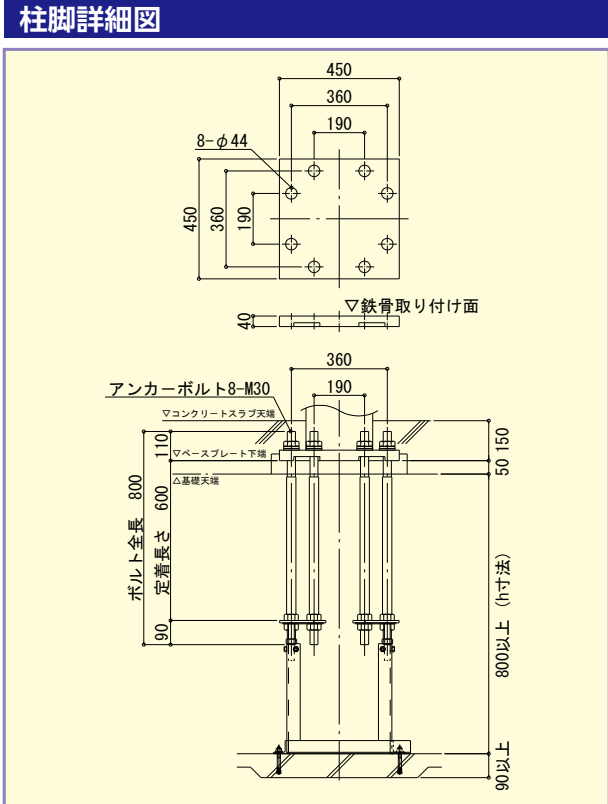
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~370	300~370	360~370	
D22	240~370	300~370	360~370	
D25	250~370	320~370		



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB250-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □250 (板厚範囲:6~16mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	51.1 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	640	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	640	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	470
〈中柱用〉	640	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	640	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	470

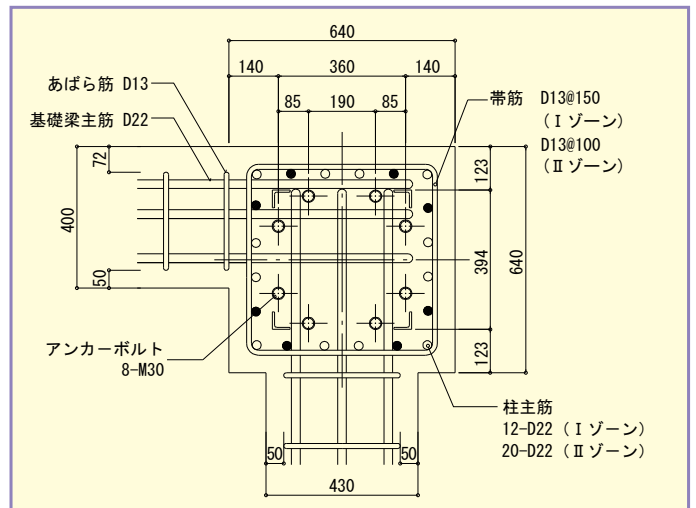
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~450	420~450		
D22	360~450	420~450		
D25	360~450	430~450		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~270	* 430	* 430	
D22	240~270	* 430	* 430	
D25	250~270	* 430	* 430	



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

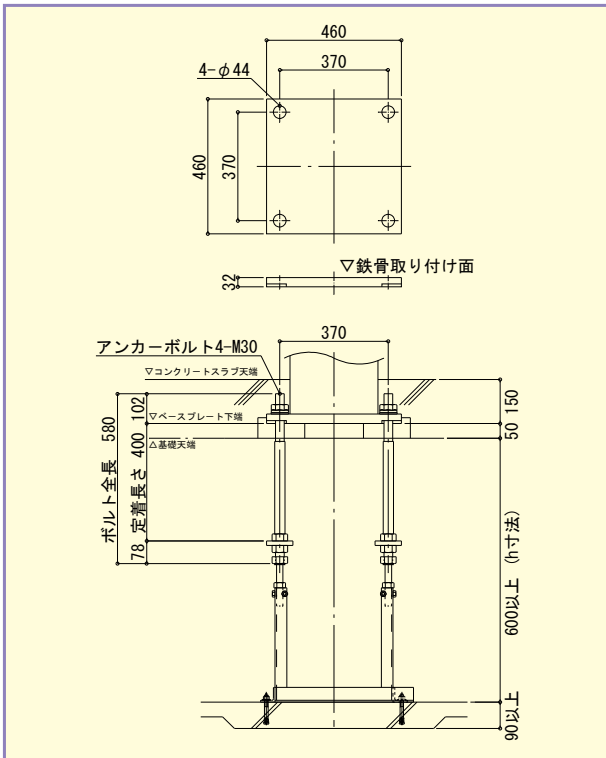
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB300-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

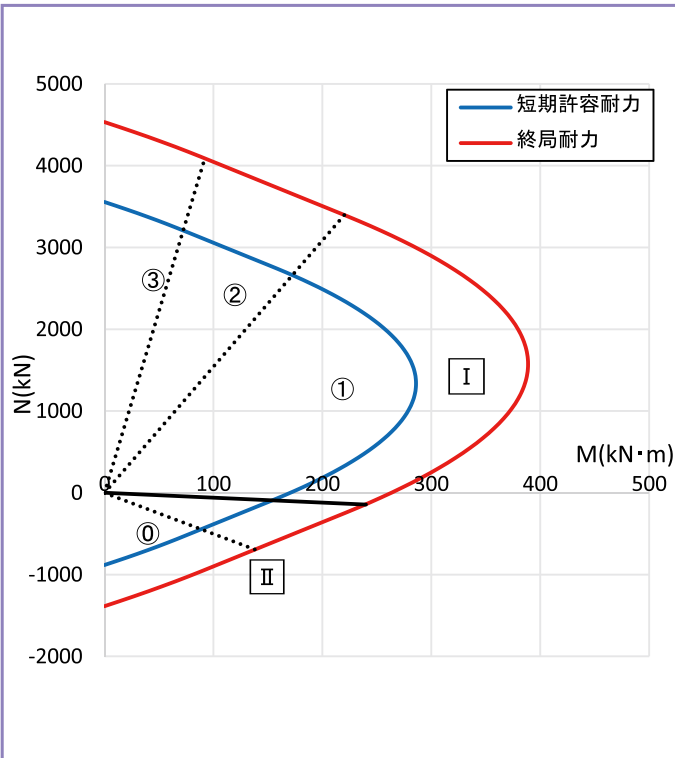
適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	70.1 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	660	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	660	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	280
〈中柱用〉	660	8-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	660	16-D19 (SD345)	D13@150 (SD295)	280

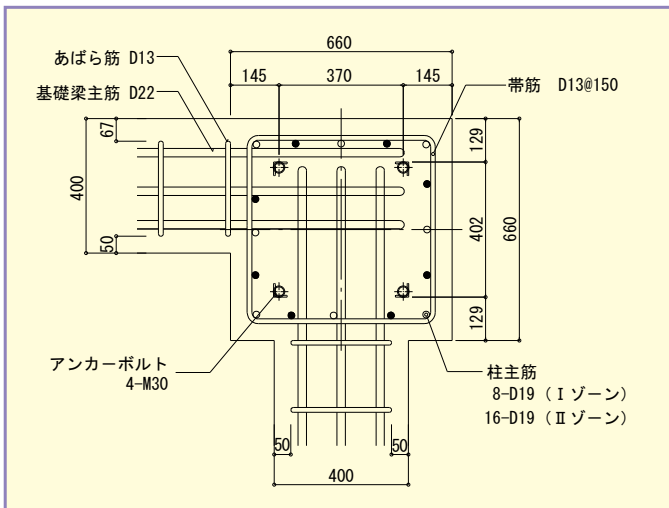
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~550	340~550	400~550	460~550
D22	280~550	340~550	400~550	460~550
D25	280~550	350~550	420~550	490~550

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	

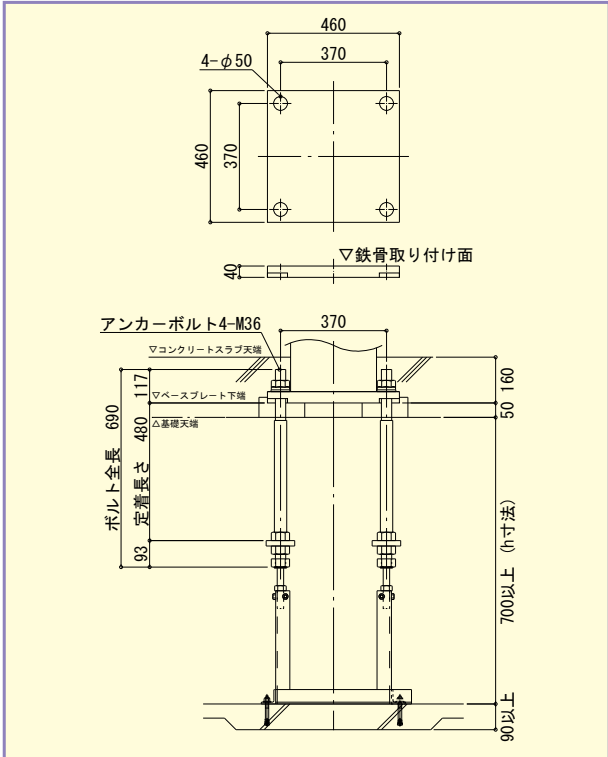


注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

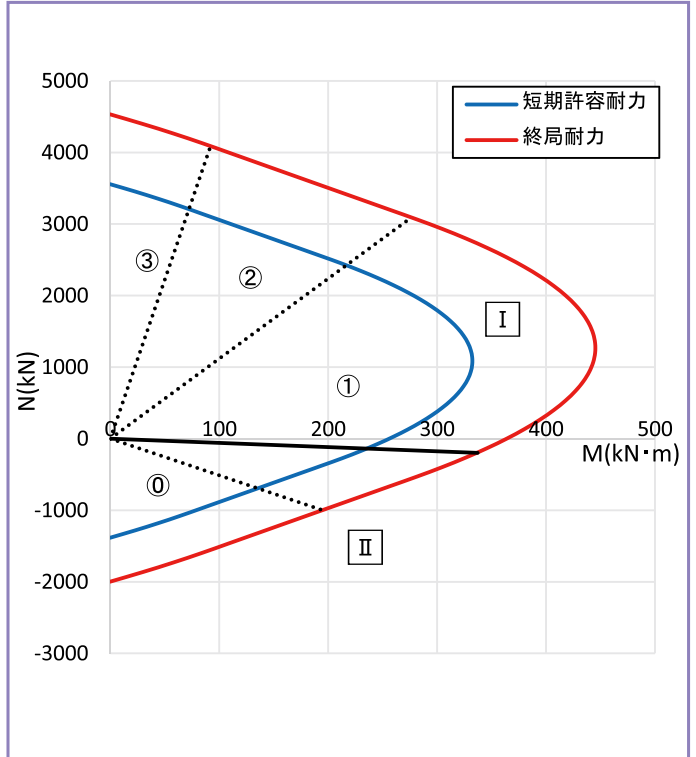
EB300-4-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M36)
回転ばね定数	82.9 × 10 ³ kN・m/rad

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	660	12-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	660	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350
〈中柱用〉	660	12-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	660	20-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	350

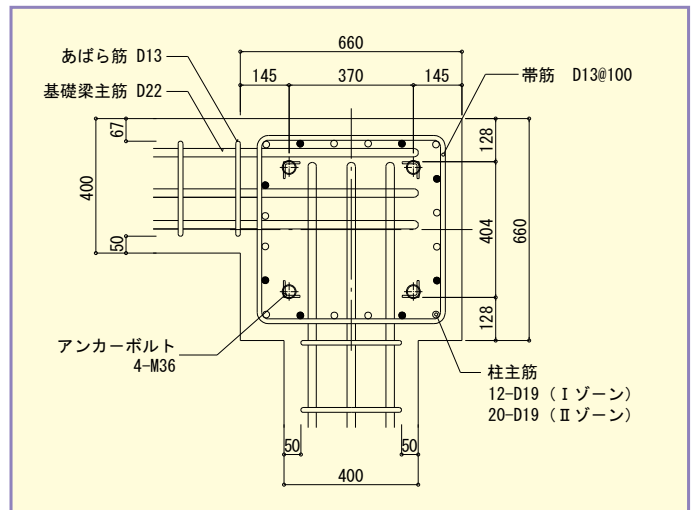
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	290~540	350~540	410~540	470~540
D22	290~540	350~540	410~540	470~540
D25	290~540	360~540	430~540	500~540

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	



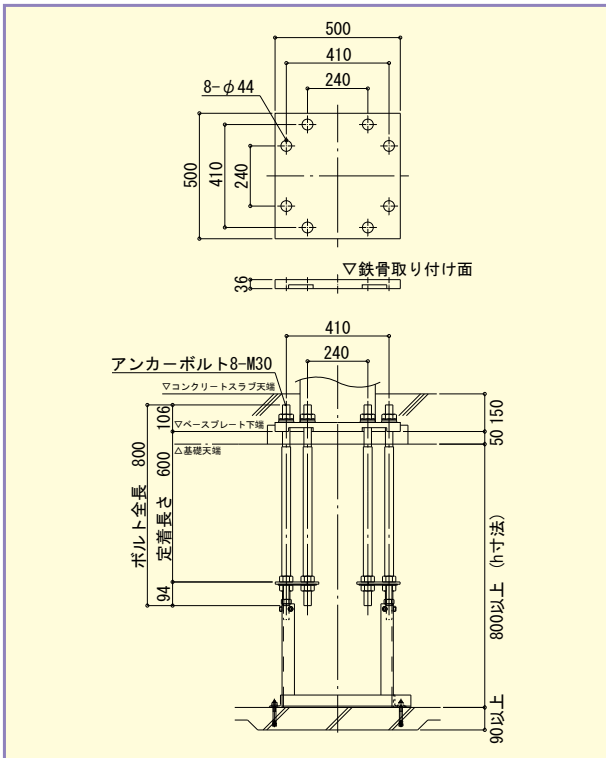
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB300-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

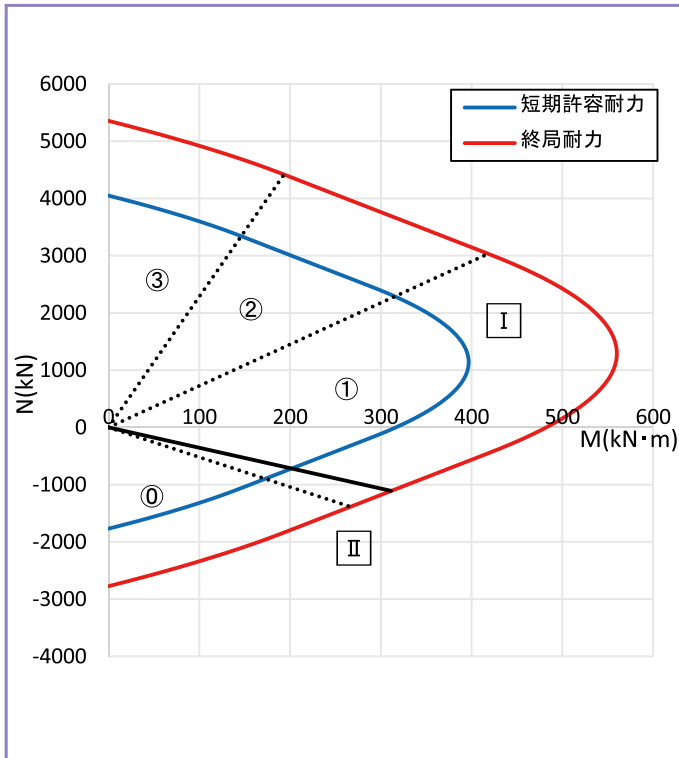
適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	69.4 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	440
〈中柱用〉	700	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	700	20-D22 (SD345)	D13@100 (SD295)	440

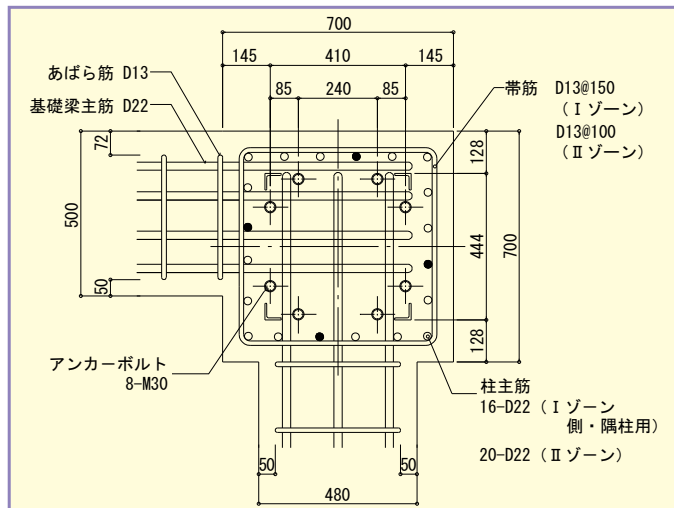
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~510	420~510	480~510	
D22	360~510	420~510	480~510	
D25	360~510	430~510	500~510	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~320	300~320	* 480	* 480
D22	240~320	300~320	* 480	* 480
D25	250~320	320	* 480	* 480



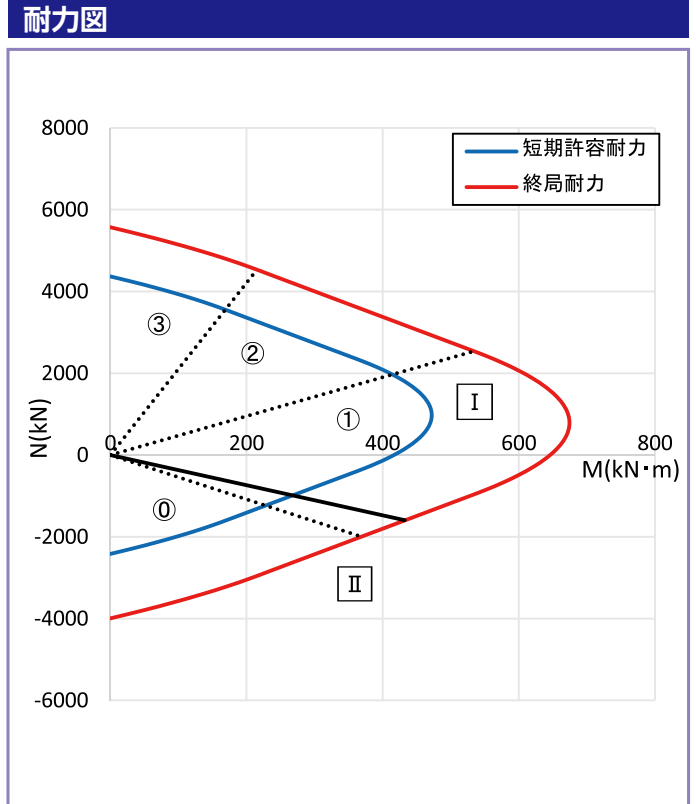
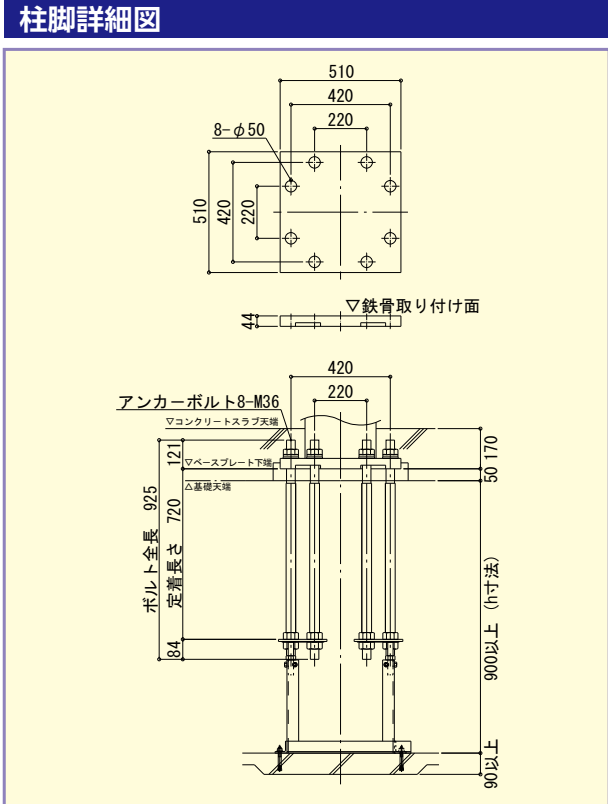
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB300-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □300 (板厚範囲:6~19mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	84.0 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	720	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	720	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	610
〈中柱用〉	720	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	720	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	610

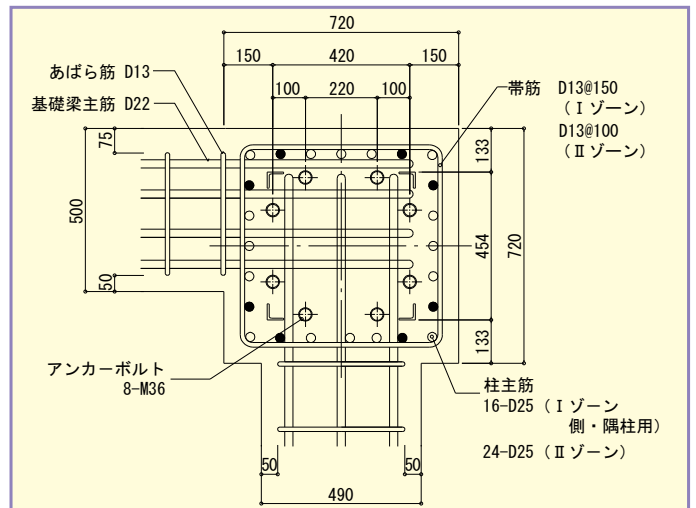
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~500	440~500	500	
D22	380~500	440~500	500	
D25	380~500	450~500		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~290	* 490	* 490	
D22	240~290	* 490	* 490	
D25	250~290	* 490	* 490	



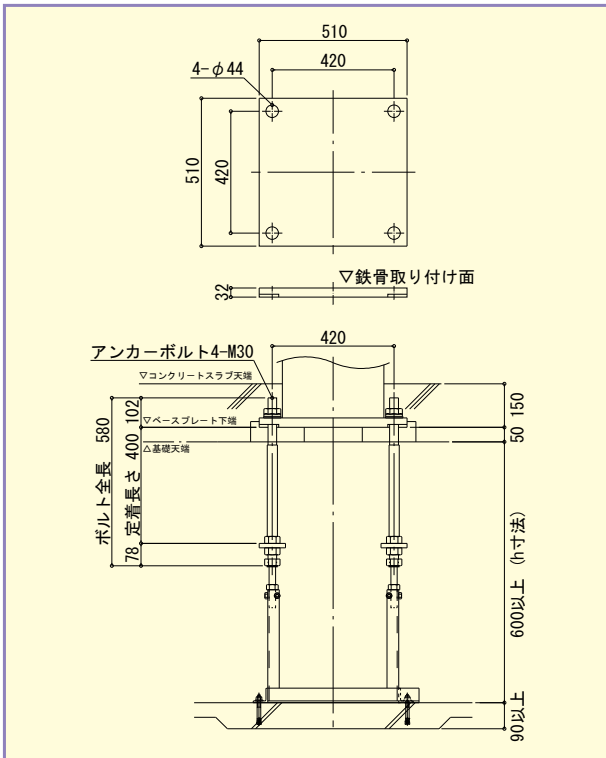
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-4-30 (Fc=21N/mm²の場合)

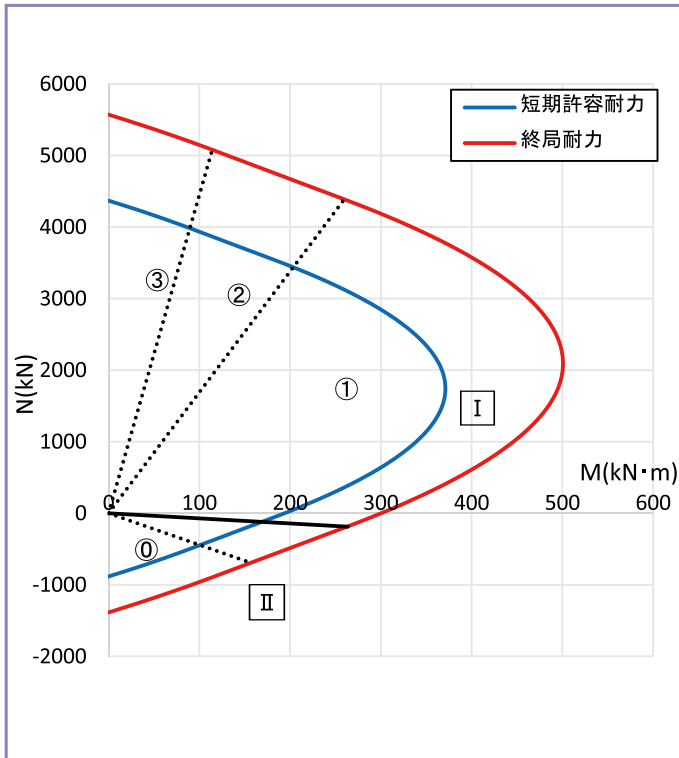
適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト4本タイプ (4-M30)
回転ばね定数	93.1 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	710	8-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	710	16-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	250
〈中柱用〉	710	8-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	710	16-D19 (SD345)	D13@100 (SD295)	250

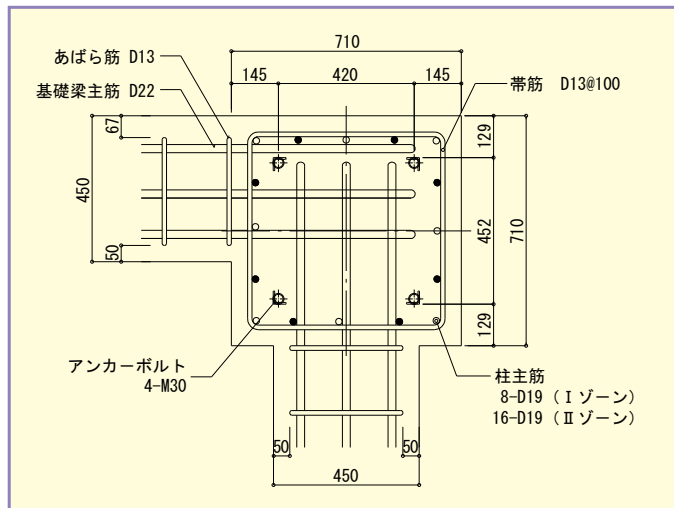
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	280~600	340~600	400~600	460~600
D22	280~600	340~600	400~600	460~600
D25	280~600	350~600	420~600	490~600

柱形中心基礎はりタイプ

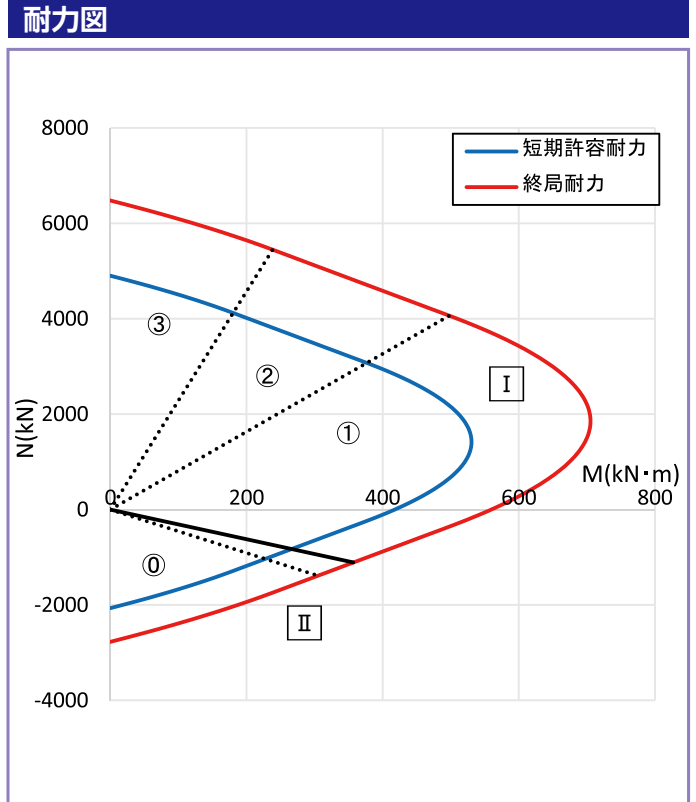
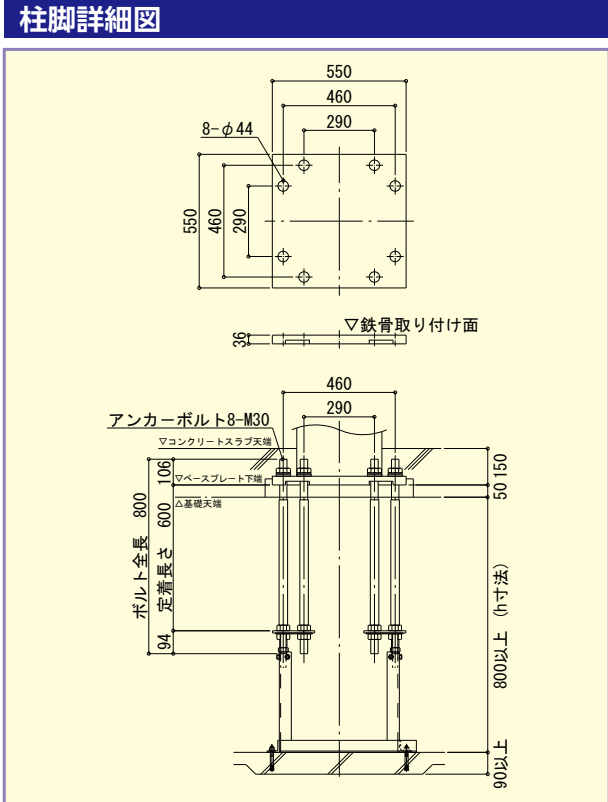
はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490



注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

EB350-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	89.5 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	750	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490
〈中柱用〉	750	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	750	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	490

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~560	420~560	480~560	540~560
D22	360~560	420~560	480~560	540~560
D25	360~560	430~560	500~560	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~370	300~370	360~370	* 530
D22	240~370	300~370	360~370	* 530
D25	250~370	320~370	* 530	* 530

注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

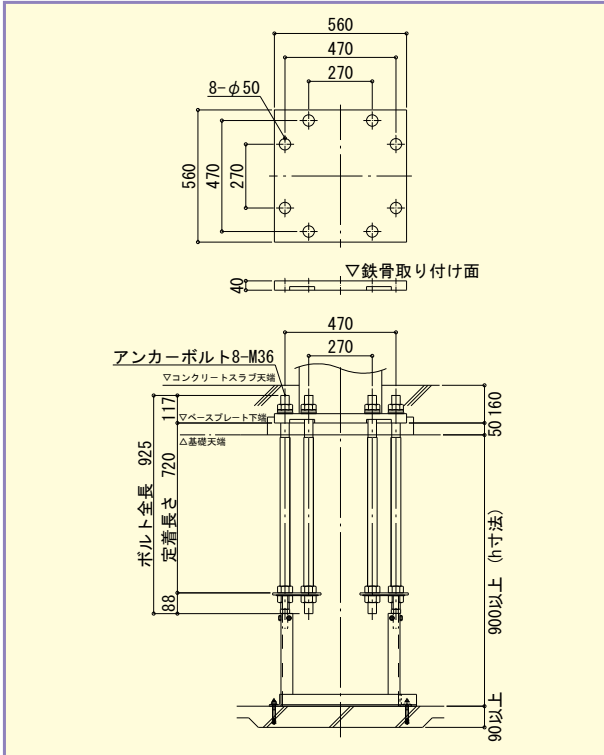
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

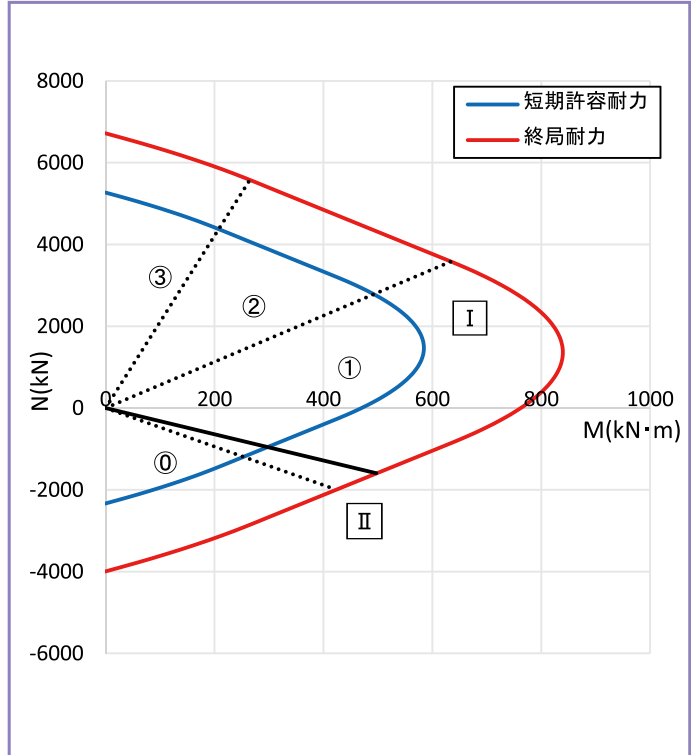
適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲: 9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	105 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590
〈中柱用〉	770	16-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	770	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	590

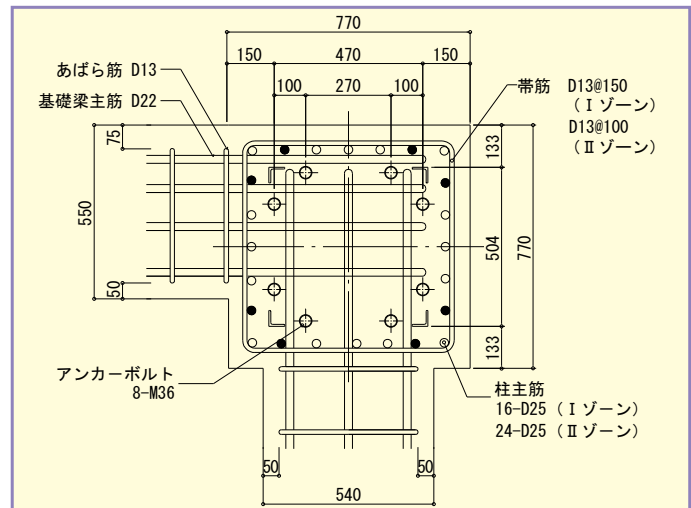
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~550	440~550	500~550	
D22	380~550	440~550	500~550	
D25	380~550	450~550	520~550	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~340	300~340	* 540	* 540
D22	240~340	300~340	* 540	* 540
D25	250~340	320~340	* 540	* 540



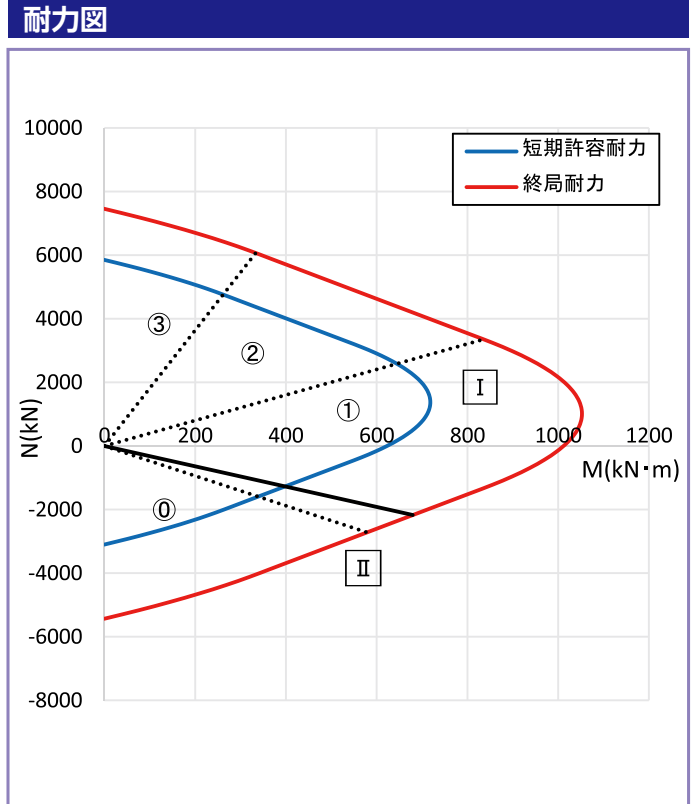
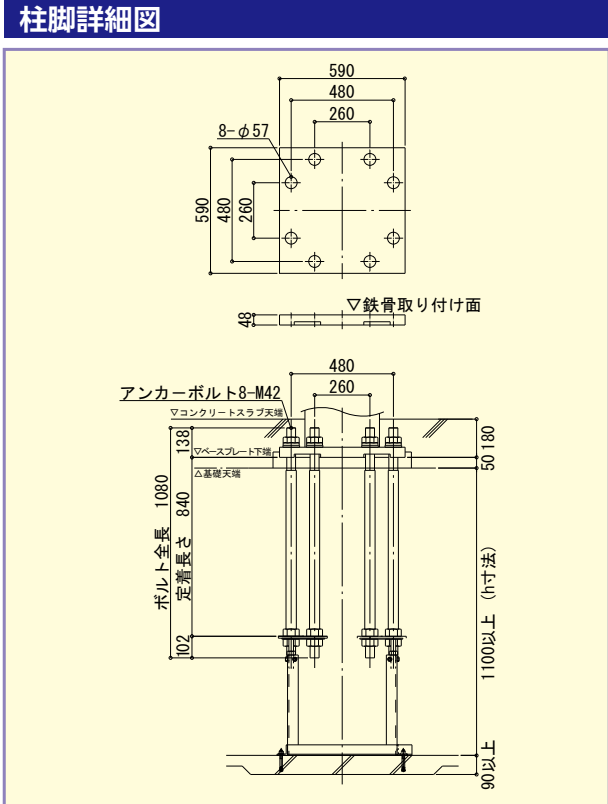
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB350-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □350 (板厚範囲:9~22mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	133×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	790	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	790	20-D25 (SD345)	D13@150 (SD295)	790	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

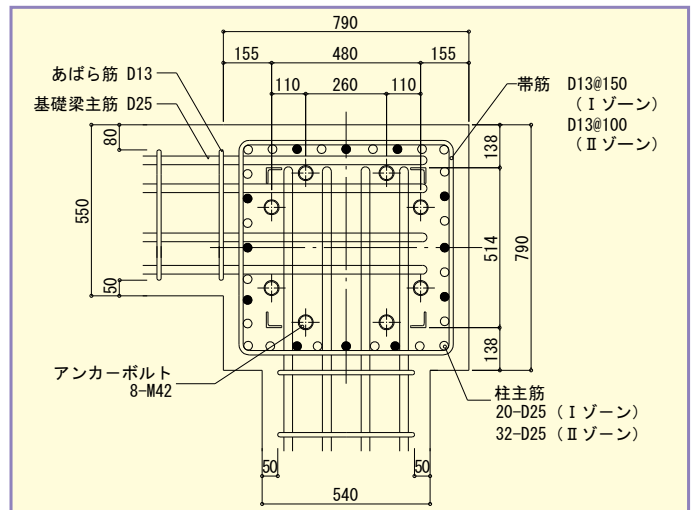
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~550	460~550	520~550	
D25	400~550	470~550	540~550	
D29	400~550	480~550		

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~320	300~320	* 540	* 540
D25	250~320	320	* 540	* 540
D29	260~320	* 540	* 540	



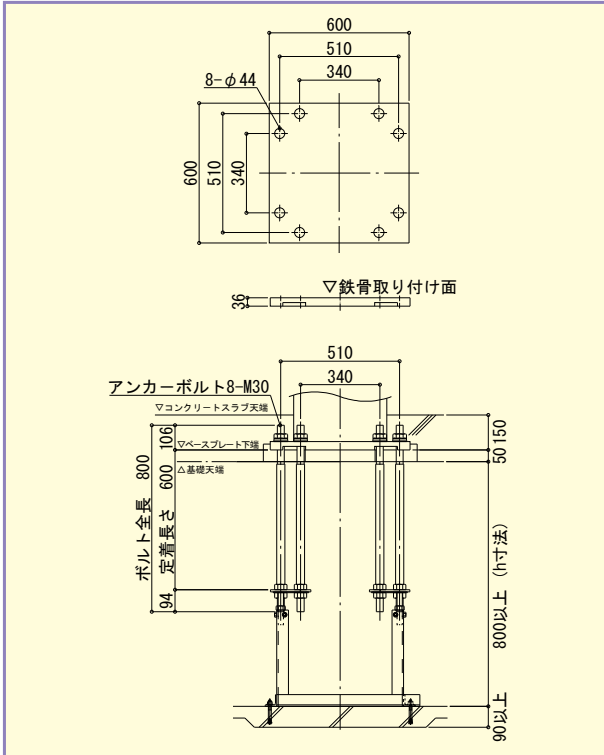
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの場合の配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-30 (Fc=21N/mm²の場合)

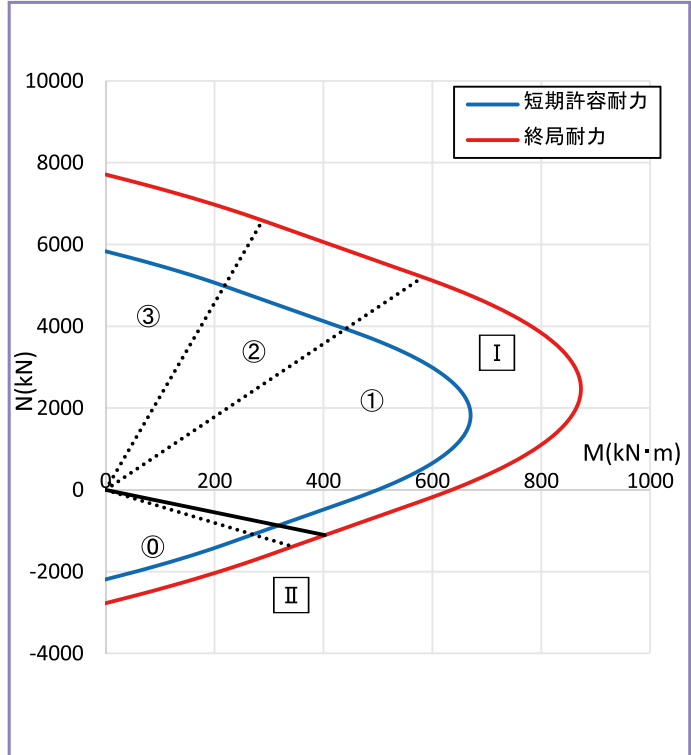
適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M30)
回転ばね定数	111×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	800	16-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	470
〈中柱用〉	800	12-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	800	20-D22 (SD345)	D13@150 (SD295)	470

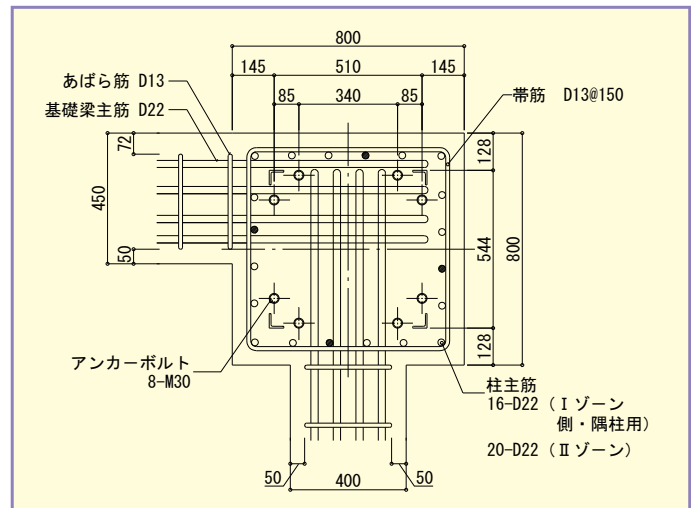
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	360~610	420~610	480~610	540~610
D22	360~610	420~610	480~610	540~610
D25	360~610	430~610	500~610	570~610

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~420	300~420	360~420	420
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	*580



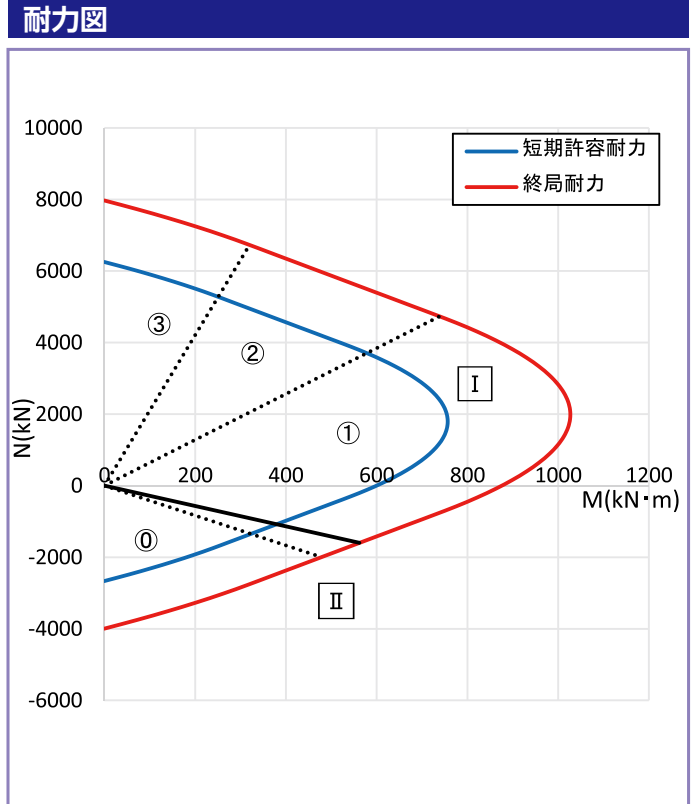
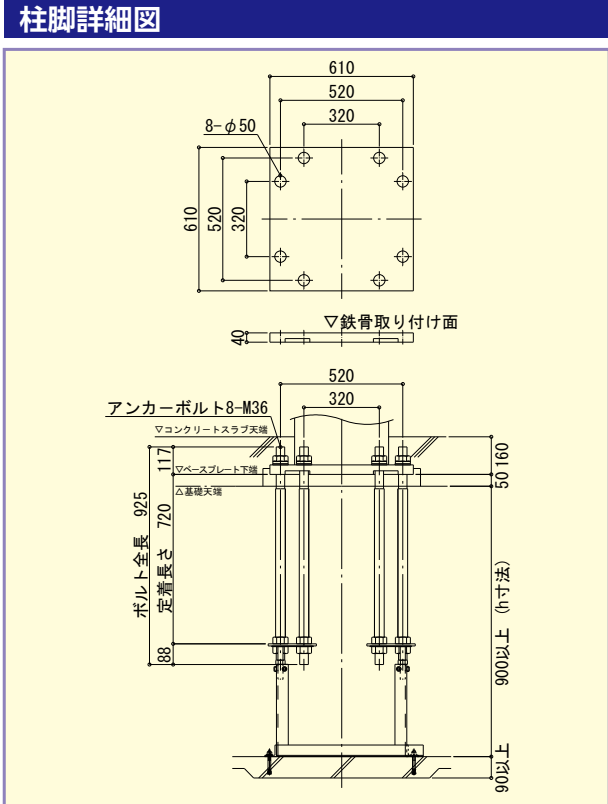
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	127×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	820	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570
〈中柱用〉	820	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	820	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	570

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~600	440~600	500~600	560~600
D22	380~600	440~600	500~600	560~600
D25	380~600	450~600	520~600	590~600

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~390	300~390	360~390	* 590
D22	240~390	300~390	360~390	* 590
D25	250~390	320~390	390	* 590

あばら筋 D13

基礎梁主筋 D22

75

600

150

820

150

100

520

320

100

帯筋 D13@100

133

554

820

133

アンカーボルト 8-M36

柱主筋 16-D25 (Iゾーン 側・隅柱用)

24-D25 (IIゾーン)

50

590

50

注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

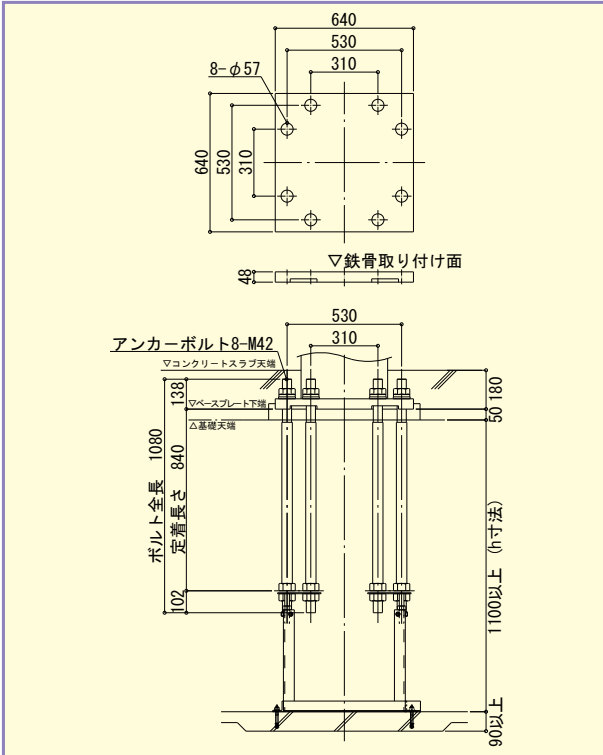
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB400-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

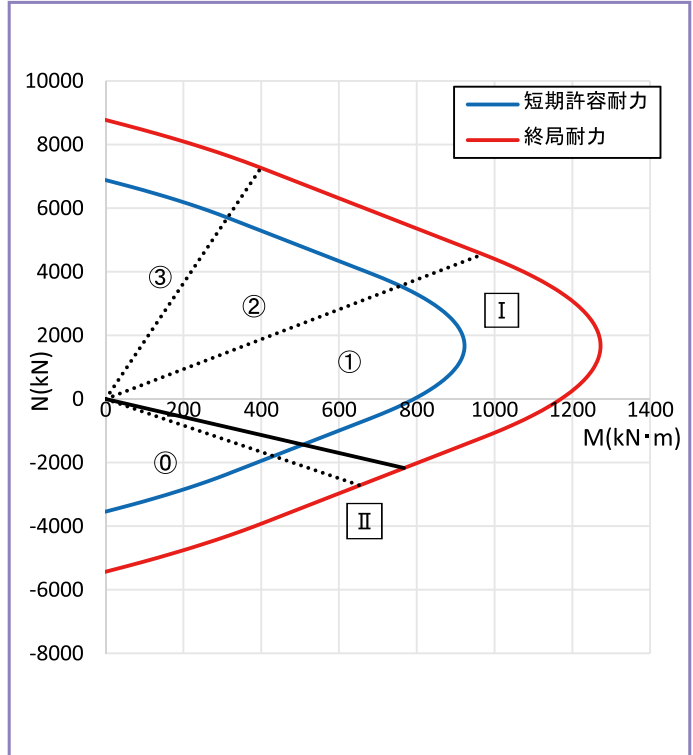
適用柱	角形鋼管柱 □400 (板厚範囲: 9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	175 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730
〈中柱用〉	840	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	840	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	730

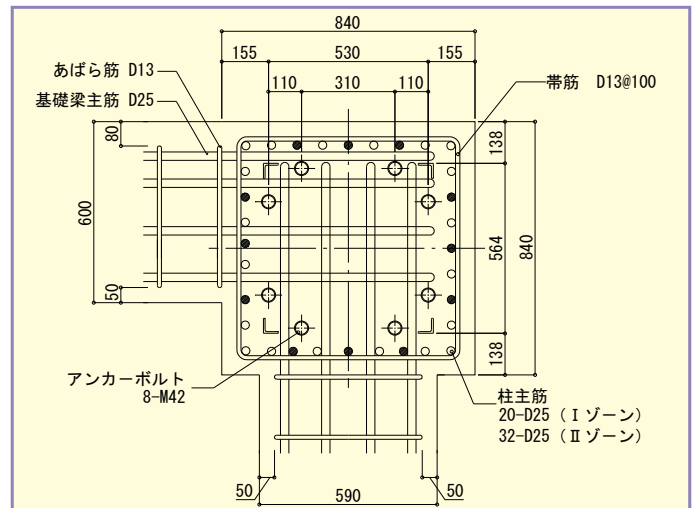
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~600	460~600	520~600	580~600
D25	400~600	470~600	540~600	
D29	400~600	480~600	560~600	

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~370	300~370	360~370	* 590
D25	250~370	320~370	* 590	* 590
D29	260~370	340~370	* 590	* 590



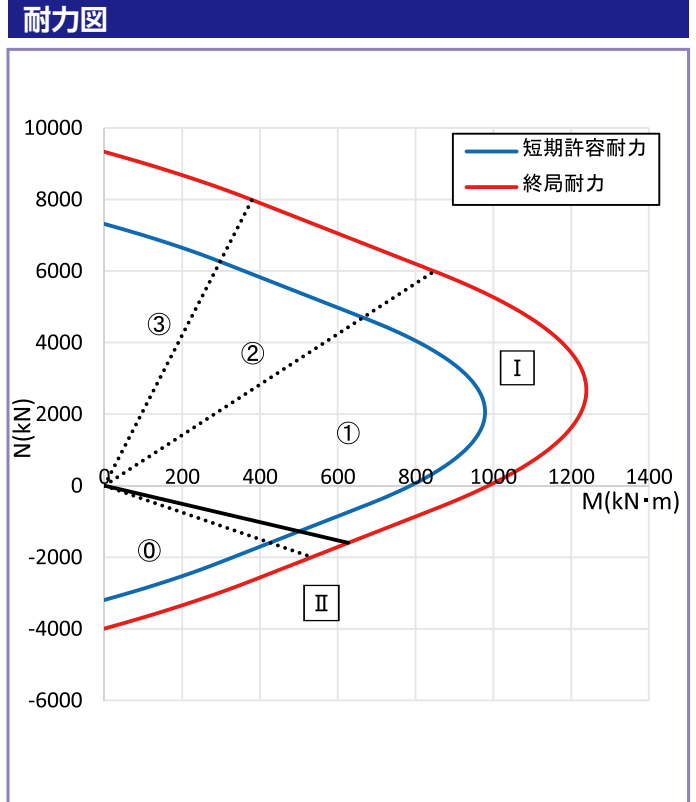
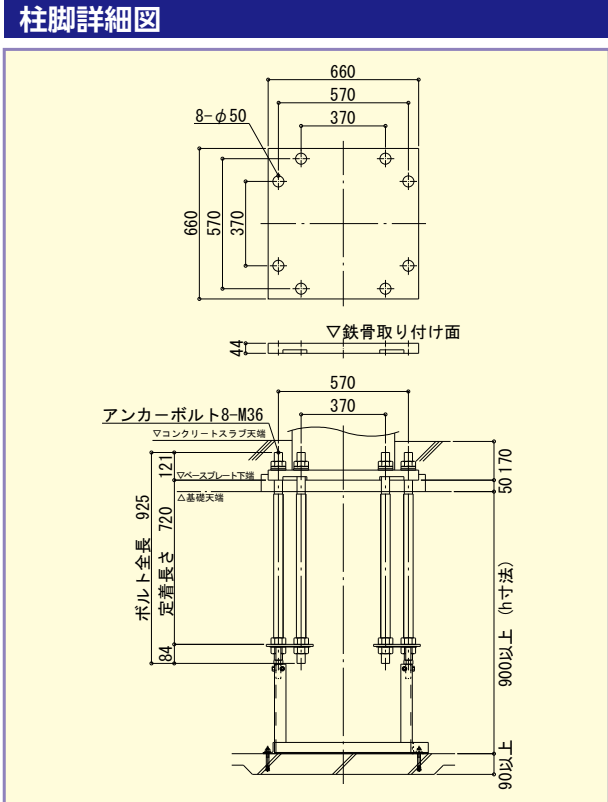
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB450-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	169 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550
〈中柱用〉	870	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	870	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	550

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	380~650	440~650	500~650	560~650
D22	380~650	440~650	500~650	560~650
D25	380~650	450~650	520~650	590~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~440	300~440	360~440	420~440
D22	240~440	300~440	360~440	420~440
D25	250~440	320~440	390~440	* 640

基礎はり端部納まり例

870

570

370

150

100

75

500

50

133

604

870

133

あばら筋 D13

基礎梁主筋 D22

帯筋 D13@100

アンカーボルト 8-M36

柱主筋 16-D25 (Iゾーン) 24-D25 (IIゾーン)

注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーンの場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

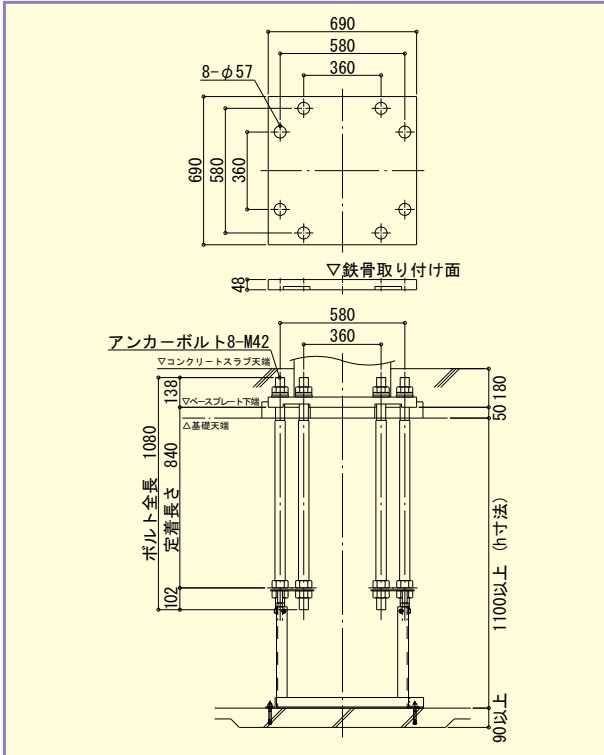
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB450-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

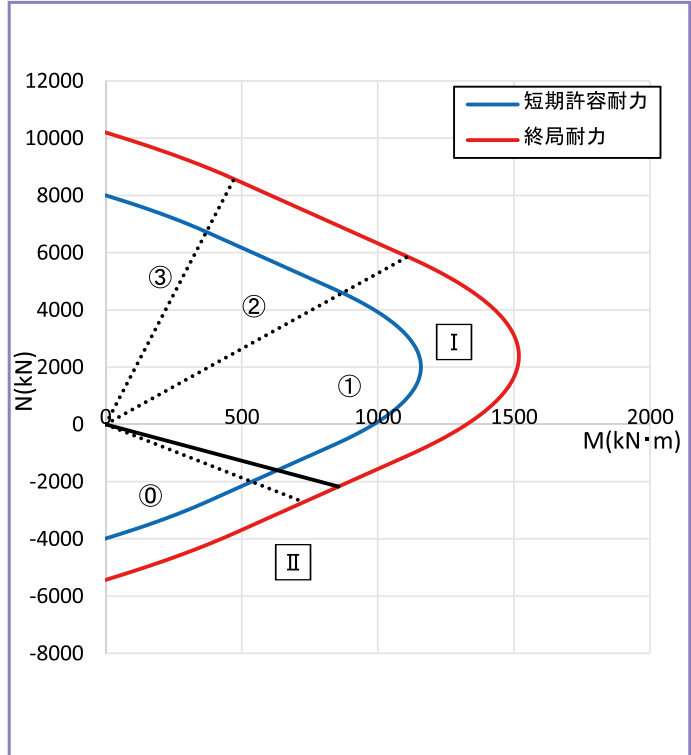
適用柱	角形鋼管柱 □450 (板厚範囲:9~25mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	199×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	I ゾーンの場合			II ゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	890	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710
〈中柱用〉	890	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	890	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	710

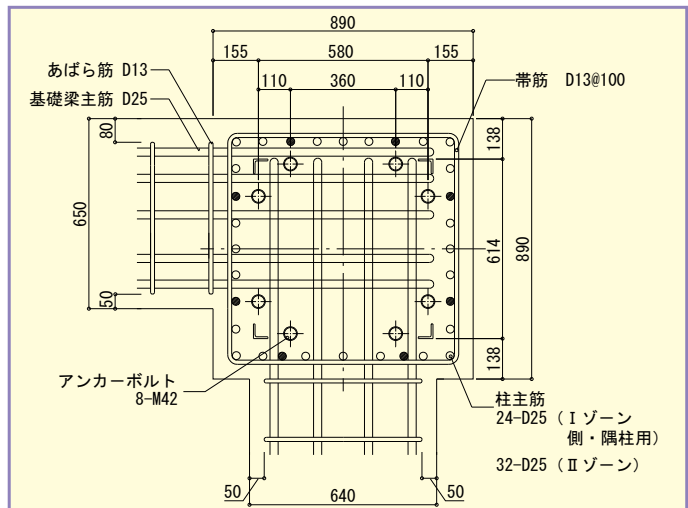
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~650	460~650	520~650	580~650
D25	400~650	470~650	540~650	610~650
D29	400~650	480~650	560~650	640~650

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~420	300~420	360~420	420
D25	250~420	320~420	390~420	*640
D29	260~420	340~420	420	*640



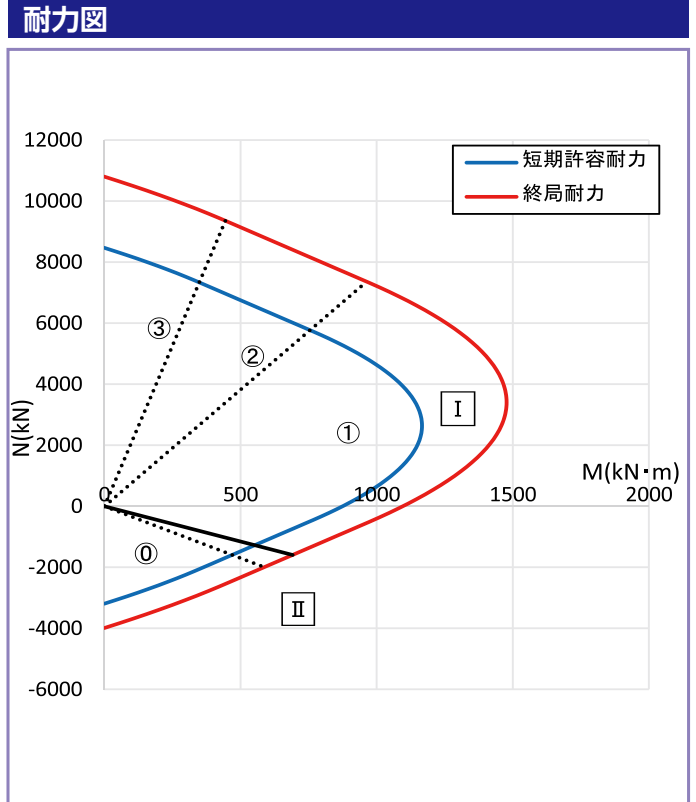
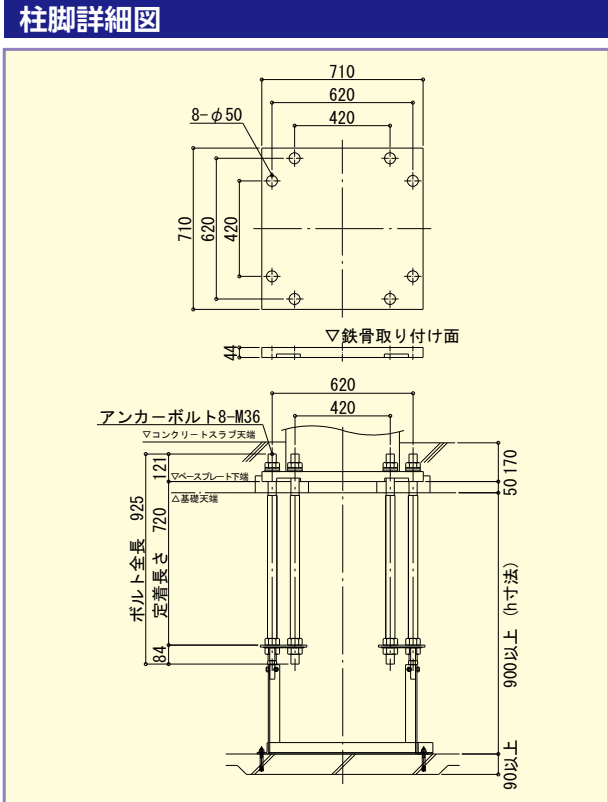
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-8-36 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M36)
回転ばね定数	210×10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	16-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540
〈中柱用〉	950	12-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	540

基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D19	400~720	460~720	520~720	580~720
D22	400~720	460~720	520~720	580~720
D25	400~720	470~720	540~720	610~720

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D19	240~490	300~490	360~490	420~490
D22	240~490	300~490	360~490	420~490
D25	250~490	320~490	390~490	460~490

950, 165, 620, 165, あばら筋 D13, 基礎梁主筋 D22, 帯筋 D13@100, 450, 75, 100, 420, 100, 148, 654, 950, アンカーボルト 8-M36, 柱主筋 16-D25 (Iゾーン 側・隅柱用), 24-D25 (IIゾーン), 50, 450, 50

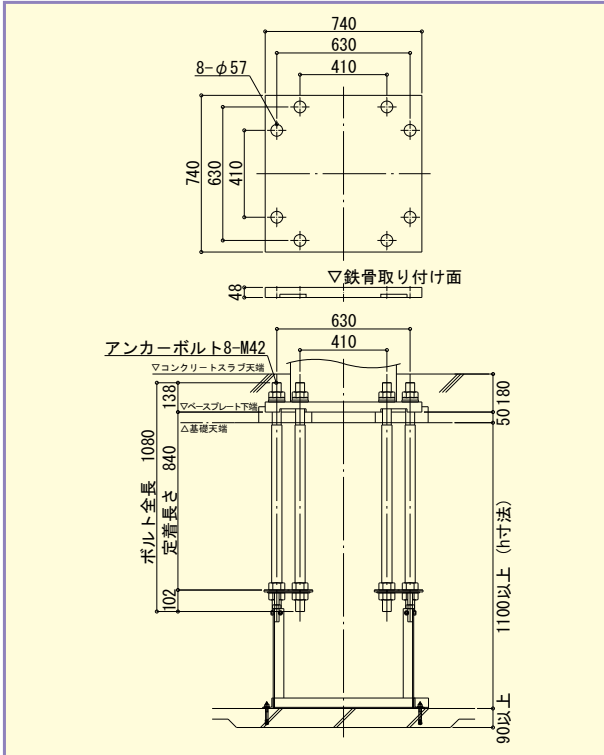
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン <側・隅柱用> の場合の配筋量です。
設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。
注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

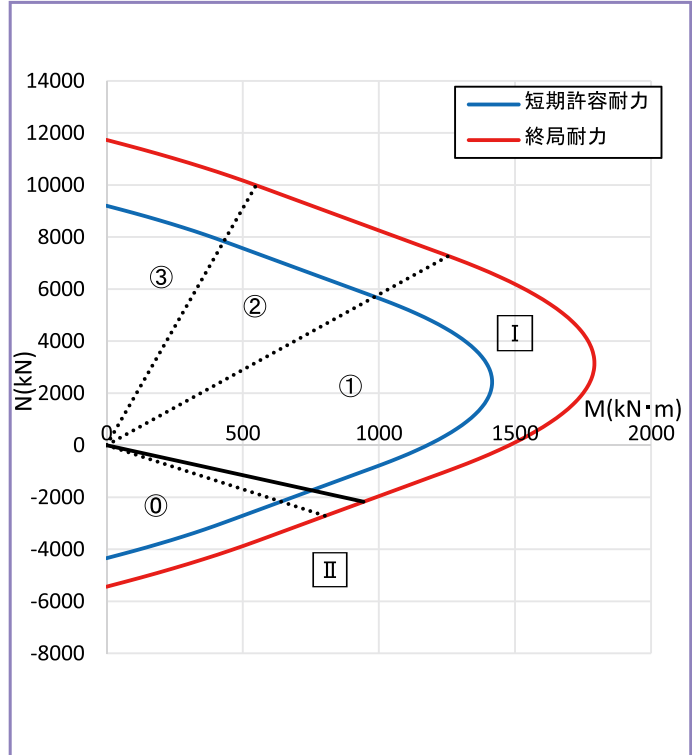
適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	238 × 10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	950	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	700

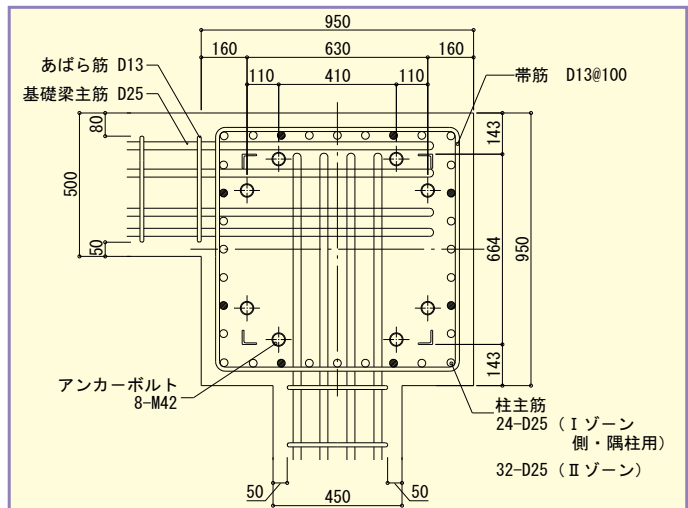
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	410~710	470~710	530~710	590~710
D25	410~710	480~710	550~710	620~710
D29	410~710	490~710	570~710	650~710

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~470	300~470	360~470	420~470
D25	250~470	320~470	390~470	460~470
D29	260~470	340~470	420~470	*690



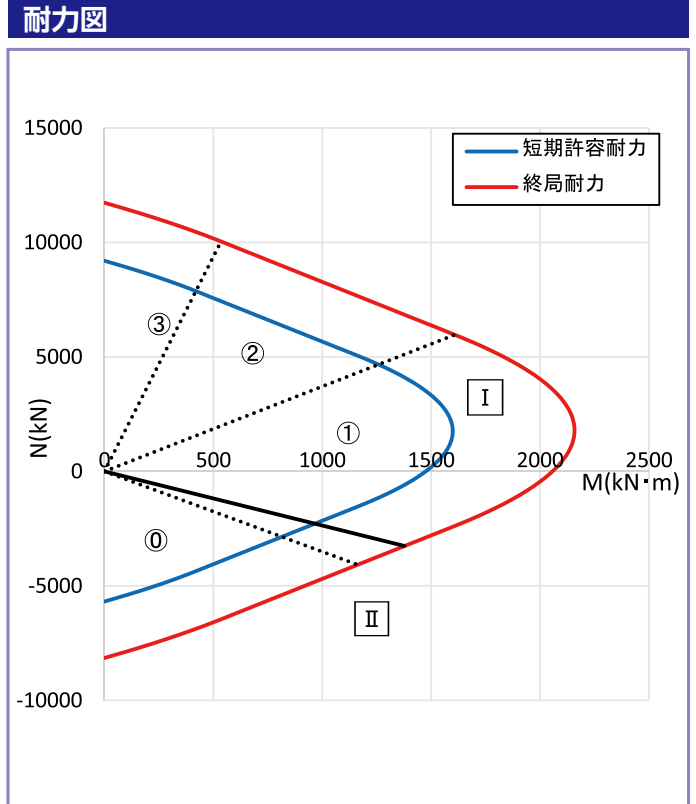
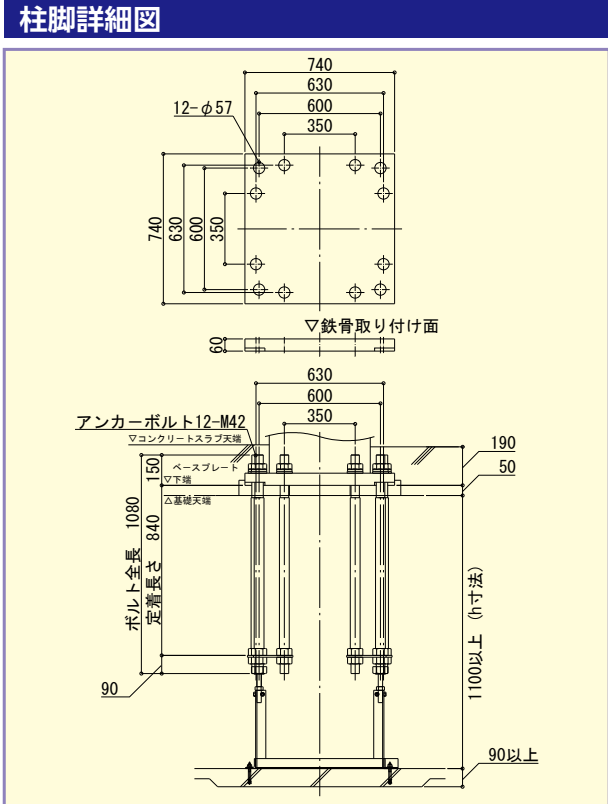
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB500-12-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □500 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M42)
回転ばね定数	396 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	950	28-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	950	20-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630

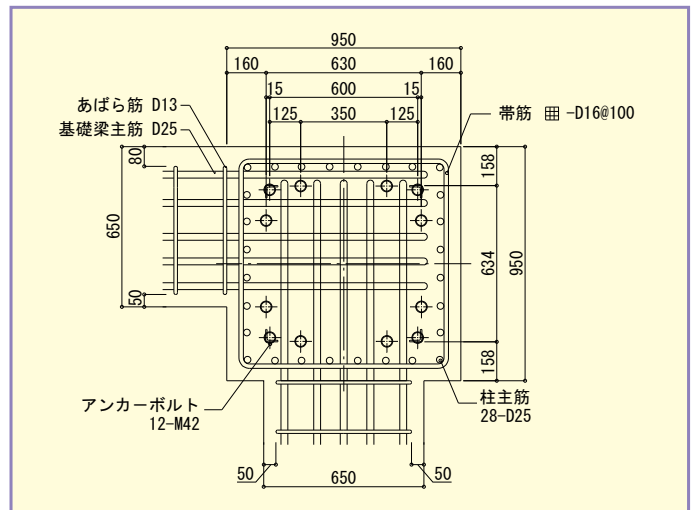
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~680	500~680	560~680	620~680
D25	440~680	510~680	580~680	650~680
D29	440~680	520~680	600~680	680

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~410	300~410	360~410	* 650
D25	250~410	320~410	390~410	* 650
D29	260~410	340~410	* 650	* 650



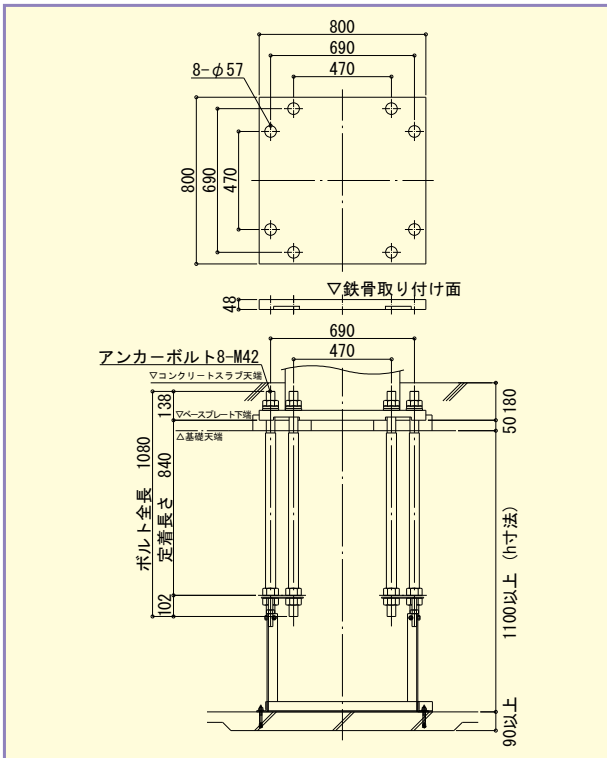
注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) * がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。

EB550-8-42 (Fc=21N/mm²の場合)

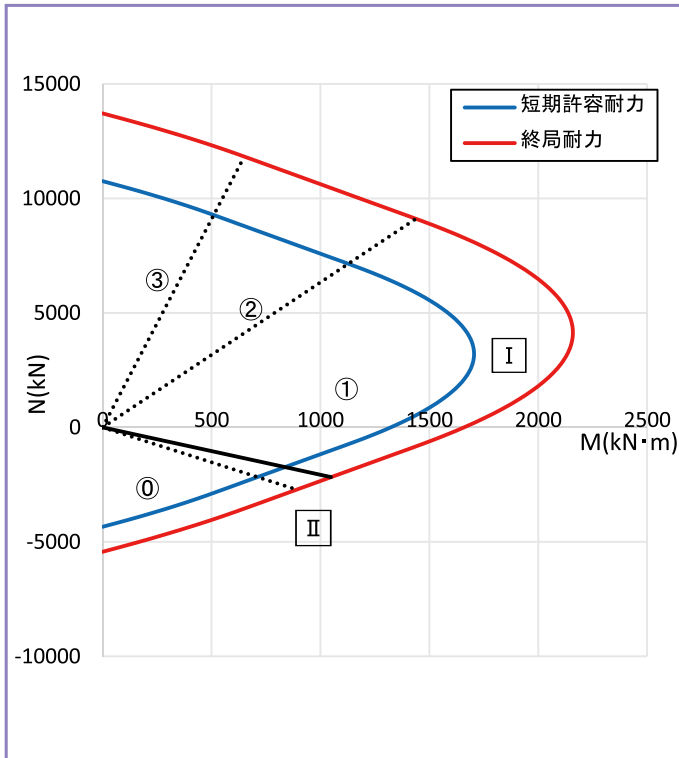
適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト8本タイプ (8-M42)
回転ばね定数	317×10 ³ kN・m/rad

EB

柱脚詳細図



耐力図



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt (mm)
	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形 (mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	24-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	1000	32-D25 (SD345)	D13@100 (SD295)	680

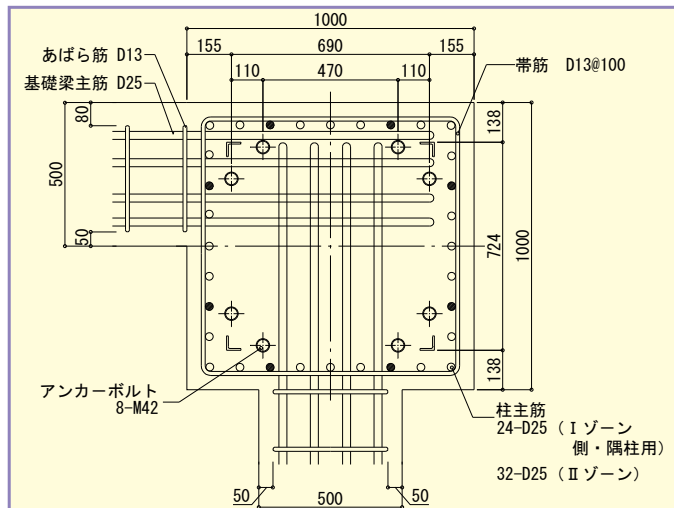
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	400~760	460~760	520~760	580~760
D25	400~760	470~760	540~760	610~760
D29	400~760	480~760	560~760	640~760

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~530	300~530	360~530	420~530
D25	250~530	320~530	390~530	460~530
D29	260~530	340~530	420~530	500~530



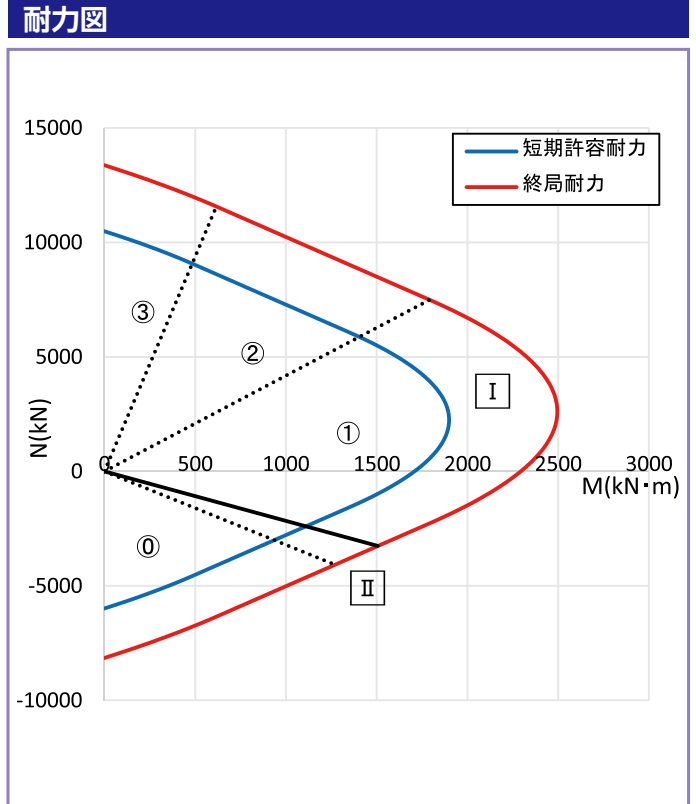
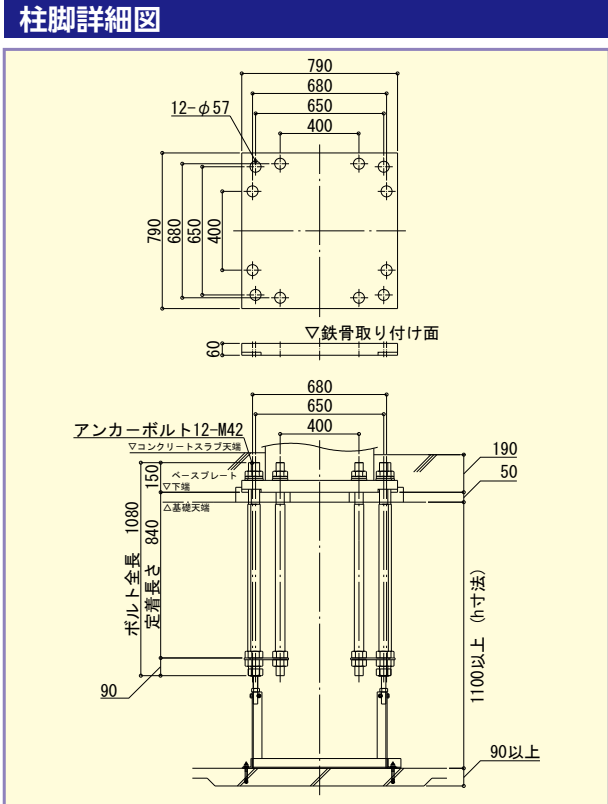
注 1) 上記柱主筋について、柱主筋○は I ゾーン〈側・隅柱用〉の場合の配筋量です。

設計上、II ゾーンの配筋量となる場合は、柱主筋○と柱主筋●印を合わせた配筋量となります。

注 2) *がつかう基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。

EB550-12-42 (Fc=21N/mm²の場合)

適用柱	角形鋼管柱 □550 (板厚範囲:9~28mm)
ベースプレート	エコタイプ (鋼板製ベースプレート)
アンカーボルト	アンカーボルト12本タイプ (12-M42)
回転ばね定数	475 × 10 ³ kN・m/rad



基礎柱形設計例

	Iゾーンの場合			IIゾーンの場合			鉄筋の定着長さ Lt(mm)
	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	柱形(mm)	基礎柱形主筋	帯筋	
〈側・隅柱用〉	1000	28-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630
〈中柱用〉	1000	20-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	1050	44-D25 (SD345)	■-D16@100 (SD295)	630

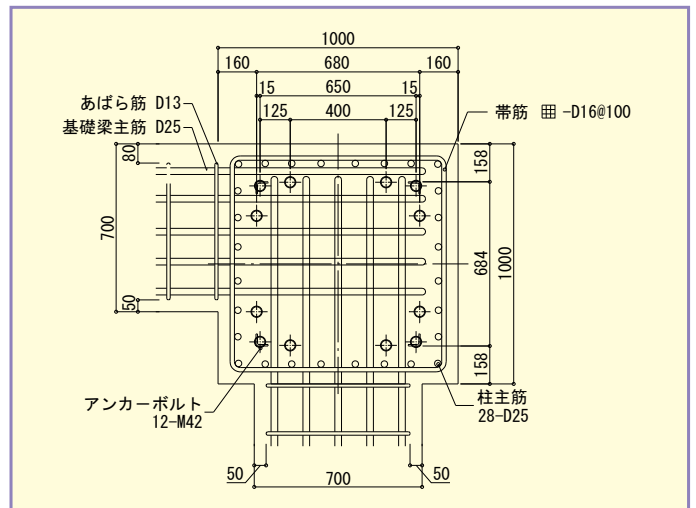
基礎はり端部納まり例

柱形外面基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	3	4	5	6
D22	440~730	500~730	560~730	620~730
D25	440~730	510~730	580~730	650~730
D29	440~730	520~730	600~730	680~730

柱形中心基礎はりタイプ

はり主筋	はり主筋本数			
	2	3	4	5
D22	240~460	300~460	360~460	420~460
D25	250~460	320~460	390~460	460
D29	260~460	340~460	420~460	*700



注 1) 上記納まり例は I ゾーンの場合です。
 注 2) *がつく基礎はり幅の場合、2本のアンカーボルト間に基礎はり主筋が配筋されますので、この基礎はり幅寸法は変更できません。
 注 3) 上記納まり例では中子筋を省略して作図しています。